

第6次青梅市総合長期計画

実 施 計 画

(平成28年度～平成30年度)

みどりと清流、歴史と文化、ふれあいと活力のまち 青梅

— ゆめ ・ うめ ・ おうめ —

青 梅 市

目 次

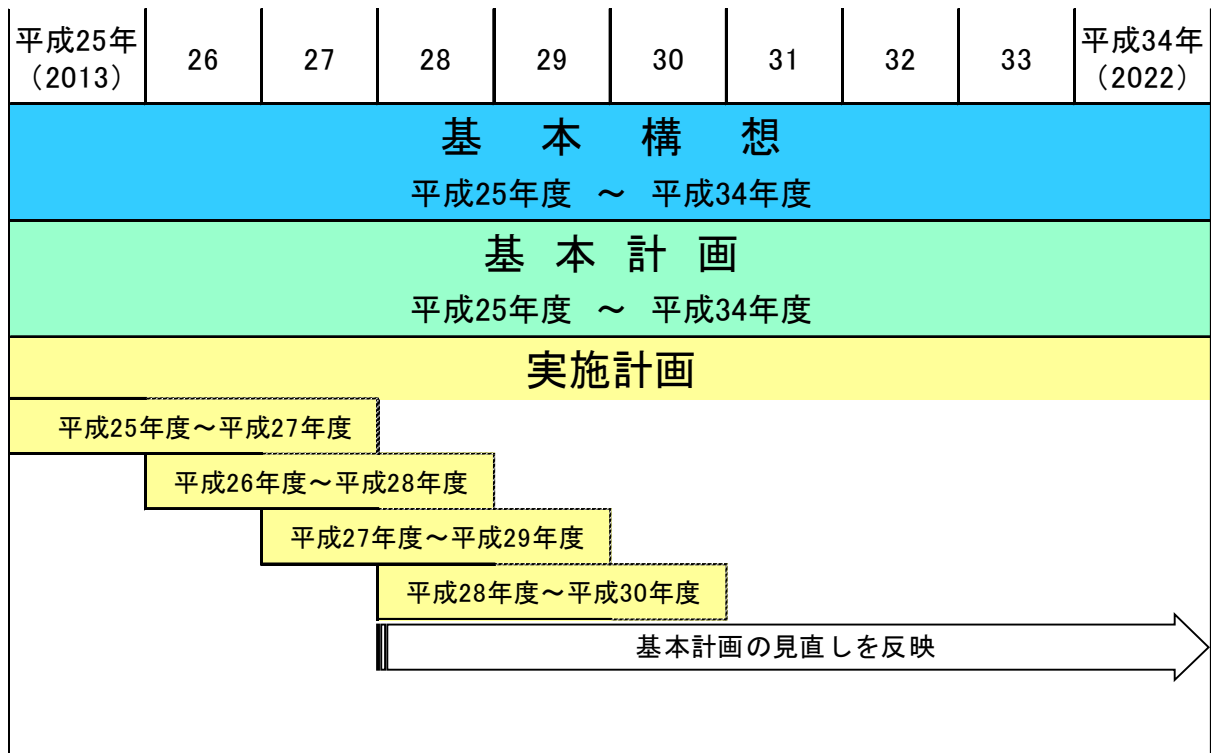
| | |
|-----------------------|----|
| 1. 実施計画の考え方 | 1 |
| 1. 実施計画の考え方 | 2 |
| 2. 計画の進行管理 | 2 |
| 2. 施策分野別事業計画 | 3 |
| 基本事項・共通事項 | 4 |
| 1. 施策分野別事業計画の構成 | 4 |
| 2. まちづくりの指標 | 4 |
| 3. 事業計画の見方 | 5 |
| 4. 新規・完了・廃止等の事業について | 5 |
| 5. 留意事項 | 5 |
| 第1章 安全で快適に暮らせるまち | 6 |
| 1. 防災・消防 | 8 |
| 2. 交通安全 | 14 |
| 3. 防犯・消費者保護 | 14 |
| 4. 住宅 | 15 |
| 5. 公園・緑地 | 18 |
| 第2章 自然と共生し環境にやさしいまち | 22 |
| 1. 森林 | 24 |
| 2. 水辺環境 | 25 |
| 3. 生活環境 | 26 |
| 4. 循環型社会 | 28 |
| 第3章 次代を担う子どもをみんなで育むまち | 30 |
| 1. 子育て支援 | 32 |
| 2. 家庭教育 | 36 |
| 3. 学校教育 | 37 |
| 4. 青少年活動 | 42 |
| 第4章 文化・交流活動がいきづくまち | 44 |
| 1. 生涯学習 | 46 |
| 2. 歴史・文化・芸術 | 46 |
| 3. 図書館 | 47 |
| 4. スポーツ・レクリエーション | 48 |
| 5. 都市間交流 | 49 |
| 第5章 みんなが元気で健康なまち | 50 |
| 1. 予防・健康づくり | 52 |
| 2. 医療体制・市立総合病院経営 | 53 |

| | |
|------------------------|------------|
| 第6章 福祉が充実したまち | 56 |
| 1. 地域福祉 | 58 |
| 2. 高齢者福祉 | 59 |
| 3. 障害者福祉 | 61 |
| 4. ひとり親福祉 | 63 |
| 第7章 活気ある産業で雇用が生まれるまち | 64 |
| 1. 農業・林業 | 66 |
| 2. 工業 | 69 |
| 3. 商業 | 70 |
| 4. 新産業 | 72 |
| 5. 観光 | 72 |
| 6. 雇用 | 75 |
| 第8章 都市基盤が整う魅力あるまち | 78 |
| 1. 都市形成 | 80 |
| 2. 道路 | 83 |
| 3. 公共交通 | 85 |
| 4. 下水道 | 87 |
| 5. 河川・砂防 | 90 |
| 6. 都市景観 | 90 |
| 第9章 みんなが参画し協働するまち | 92 |
| 1. 市民参画・協働 | 94 |
| 2. 人権・平和 | 96 |
| 3. 男女平等参画 | 96 |
| 第10章 持続的な行財政運営ができるまち | 98 |
| 1. 行政運営 | 100 |
| 2. 情報推進・活用 | 100 |
| 3. 公共施設保全・整備 | 101 |
| 重要業績評価指標(KPI)の進ちよく状況 | 102 |
| 3. 施策連動型のしくみ | 105 |
| 1. 基本的な考え方 | 106 |
| 2. 平成27年度の取組 | 107 |
| 3. 実施計画 | 107 |
| 4. 事業計画取組状況一覧 | 109 |
| 5. 完了・廃止等事業計画一覧 | 121 |

1. 実施計画の考え方

1. 実施計画の考え方

実施計画は、平成25年度を初年度とする第6次青梅市総合長期計画基本計画に掲げた諸施策にもとづいて取り組む主要事業について、3か年の年次計画を明らかにし、毎年度の予算編成や事務執行の指針とするものです。また、総合長期計画と各分野における個別事業計画との整合を図り、諸施策を計画的に推進していきます。



2. 計画の進行管理

実施計画の推進に当たっては、青梅市を取り巻く社会経済情勢の変化や事業の進捗状況を的確に捉えて毎年度計画を更新するローリング方式を採用し、効果的に計画の推進を図ります。

また、総合長期計画期間における諸施策の推進目標を設定し、事務事業評価結果および当該年度における事業進捗予測、次年度の予算編成方針にもとづいて事業構築・予算化を進め、これらを一連のサイクルとして取り組んでいきます。重点化すべき事業の充実、効果の上がない事業の見直し・廃止、新規施策の立案に積極的に取り組み、次期計画へと反映させていきます。

また、基本計画の見直しに対しては、計画事業の整合を図り、改定します。

2. 施策分野別事業計画

基本事項・共通事項

1. 施策分野別事業計画の構成

第6次青梅市総合長期計画においては、10のまちづくりの基本方向にもとづいて45の施策分野に区分し、施策分野毎に定める基本方針や基本施策で諸施策の取組を示しています。本事業計画では、施策分野毎に各事業の3か年の計画を示し、施策の具現化を図ります。

なお、青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける事業についても、その旨を明示しています。

また、各施策分野における事業の成果や効果を図る目標数値として「まちづくりの指標」を設定します。

2. まちづくりの指標

第6次青梅市総合長期計画で取り組む諸施策の成果・効果を測るため、まちづくりの指標として目標値を掲げ、計画の点検・評価を行います。

なお、青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略で設定した重要業績評価指標(KPI)についても、本実施計画の中で進ちょく状況を示します。

| 指 標 | 単位 | 過去 | 基本計画 開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|-------------------------|----|-------|--------------|-------|-------|
| 総合防災訓練・各地区防災 訓練の参加者数 | 人 | 5,209 | 4,419 | 5,948 | 6,200 |
| | | H14年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |

3. 事業計画の見方

| | | | | |
|------------------------------------|--|--|---|--|
| 1-1 | 事業番号 | 事業の概要を記載します。 また、投資的事業については、計画期間中における事業のおおむねの年次計画を記載します。 | | |
| | 事業名 | 青梅市地域防災計画の修正 | 総合戦略 | |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | 青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略事業としての該当の有無を示します。(該当は●) | |
| 事業概要 | 地域防災計画(平成26年度修正)について、必要に応じて年次修正を行う。計画の検証を行うとともに、計画実施に必要な個別計画について体系化を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 地域防災計画や個別計画の体系化により、防災関係機関が様々な災害対策を実施し、住民の生命、身体および財産の保護、郷土の保全、都市機能の維持を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・計画の推進・検証 (必要に応じて修正) | ・計画の推進・検証 (必要に応じて修正) | ・計画の推進・検証 (必要に応じて修正) | |
| | 0 | (0) | (0) | |
| 第6次青梅市総合長期計画期間中における本事業の推進目標を記載します。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・直近3か年の事業計画および計画事業費を記載 ・平成28・29年度は予算額、平成30年度は予定事業費を記載。平成29・30年度は()書きで表記 ・平成30年度は1万円未満切り捨て ・計画事業費が未定の場合は「-」 | | |

4. 新規・完了・廃止等の事業について

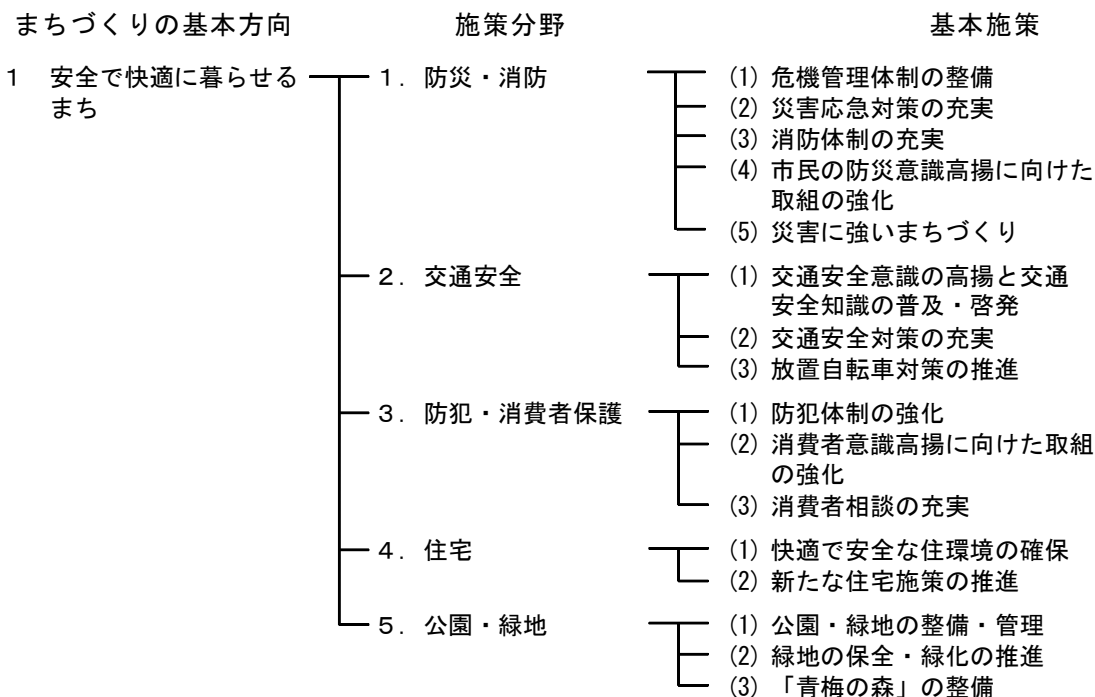
ローリングを行った結果、新たに追加する事業については、各施策分野に追加します。
また完了・廃止・統合する事業については、巻末に一覧を掲載します。

5. 留意事項

- (1) 計画額は、実施計画策定段階における主要事業を推進するための予定事業費です。
そのため、財政状況や計画策定後の事業の進捗状況等を踏まえ、予算編成において、さらなる精査を行います。
- (2) 事業費は、すべて千円単位です。
- (3) 組織名は変更される場合があります。

第1章 安全で快適に暮らせるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

| 指標 | 単位 | 過去 | 基本計画開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|-------------------------------|----|----------|----------|----------|----------|
| 総合防災訓練・各地区防災訓練の参加者数 | 人 | 5,209 | 4,419 | 5,948 | 6,200 |
| | | H14年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |
| 計画期間中における土砂災害対応訓練・水防訓練の延べ参加者数 | 人 | — | 629 | 2,370 | 5,300 |
| | | — | H24 | H25～H27 | H25～H34 |
| 家具転倒防止器具等助成事業にかかる支給率 | % | 2.36 | 13.84 | 15.52 | 20.00 |
| | | H22.3.31 | H25.3.31 | H28.3.31 | H32.3.31 |
| 火災発生件数 | 件 | 68 | 63 | 39 | 0 |
| | | H14年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |
| 交通事故による年間の死傷者数 | 人 | 1,209 | 791 | 469 | H24から半減 |
| | | H14 | H24 | H27 | H34 |
| みどり率 | % | 80.9 | 80.3 | 79.8 | 80.3 |
| | | H15 | H20 | H25 | H35 |

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

| | | | |
|-------------|------------------|-----|---|
| 1. 防災・消防 | | | |
| 1-1 | 青梅市地域防災計画の修正 | (1) | |
| 1-2 | 業務継続計画の推進 | (1) | |
| 1-3 | 避難所機能の強化 | (2) | |
| 1-4 | 消防団の充実 | (3) | ● |
| 1-5 | 消防機材等の整備 | (3) | |
| 1-6 | 市民防災ハンドブックの活用推進 | (4) | |
| 1-7 | 土砂災害対策の充実 | (4) | |
| 1-8 | 地区防災計画の推進 | (4) | ● |
| 1-9 | 避難行動要支援者支援対策の推進 | (4) | |
| 1-10 | 防災リーダーの育成 | (4) | ● |
| 1-11 | 家具転倒防止器具等支給取付事業 | (4) | |
| 1-12 | 防災行政無線の整備 | (5) | |
| 2. 交通安全 | | | |
| 1-13 | 青梅交通安全協会の活動支援 | (1) | |
| 3. 防犯・消費者保護 | | | |
| 1-14 | 安全・安心な学校づくりの推進事業 | (1) | ● |
| 1-15 | 消費者保護の充実 | (3) | |
| 4. 住宅 | | | |
| 1-16 | 市営住宅長寿命化計画の推進 | (1) | |
| 1-17 | 課題のある市営住宅の撤去事業 | (1) | |
| 1-18 | 木造戸建住宅耐震化事業 | (1) | |
| 1-19 | 緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業 | (1) | |
| 1-20 | 新たな住宅施策の推進 | (2) | ● |
| 1-21 | 空家対策事業 | (2) | ● |
| 5. 公園・緑地 | | | |
| 1-22 | 公園施設長寿命化計画の推進 | (1) | |
| 1-23 | 釜の淵緑地の整備 | (1) | |
| 1-24 | 緑の基本計画の推進 | (2) | |
| 1-25 | 青梅の森事業計画の推進 | (3) | |

1. 防災・消防

| | | | | |
|------------------|--|-------------------------|-------------------------|------|
| 1-1 | 事業名 | 青梅市地域防災計画の修正 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | |
| 事業概要 | 地域防災計画(平成26年度修正)について、必要に応じて年次修正を行う。計画の検証を行うとともに、計画実施に必要な個別計画について体系化を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 地域防災計画や個別計画の体系化により、防災関係機関が様々な災害対策を実施し、住民の生命、身体および財産の保護、郷土の保全、都市機能の維持を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・計画の推進・検証 (必要に応じて修正) | ・計画の推進・検証 (必要に応じて修正) | ・計画の推進・検証 (必要に応じて修正) | |
| | 0 | (0) | (0) | |

| | | | | |
|------------------|--|-------------------|-------------------|------|
| 1-2 | 事業名 | 業務継続計画の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | |
| 事業概要 | 業務継続計画(風水害編・新型インフルエンザ編・震災編)にもとづいた訓練や検証を行い、随時、計画を見直す。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 市庁舎や職員等の被災により、行政活動能力が著しく低下することに備え、限りある行政資源で通常業務に加えて災害対策業務を効果的に継続させ、災害時における行政機能の維持・強化を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・業務継続計画にもとづく訓練、検証 | ・業務継続計画にもとづく訓練、検証 | ・業務継続計画にもとづく訓練、検証 | |
| | 0 | (0) | (0) | |

| | | | | |
|------------------|---|--|--|------|
| 1-3 | 事業名 | 避難所機能の強化 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | |
| 事業概要 | 地域防災計画の修正にもとづき、新たな被害想定による避難者に対応した、避難所の整備と併せて、備蓄品の拡充と地域特性に合わせた適正配置を行う。また、他自治体や民間企業等と各種協定を締結し、災害時の支援協力体制の充実を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 地域防災計画にもとづき、避難所や防災備蓄品等を拡充し、想定される避難者等に対し確実な対応を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料の購入 ・応援協定の拡充 | <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料、飲料水の購入 ・応援協定の拡充 | <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料、飲料水の購入 ・応援協定の拡充 | |
| | 3,850 | (4,373) | (4,370) | |

| | | | | | |
|------------------|--|--|--|------|---|
| 1-4 | 事業名 | 消防団の充実 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | | |
| 事業概要 | 就業形態や社会環境の変化に対応するため、女性団員や機能別団員、消防団協力事業所制度の導入を進めるなど活動しやすい環境を整備する。また、消防団員用被服の更新や40歳未満で勤務先に健康診断制度の無い消防団員を対象とした健康診断を実施する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 青梅市消防団を取り巻く環境の整備を行うことにより、消防団組織の活性化や消防団員の確保に努め、地域の消防力の維持および強化、消防団員の規律の向上等を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・女性団員の運用 ・機能別団員制度の運用 ・協力事業所制度の運用 ・健康診断の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・女性団員の運用 ・機能別団員制度の運用 ・協力事業所制度の運用 ・被服購入(新入団員用) ・健康診断の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・女性団員の運用 ・機能別団員制度の運用 ・協力事業所制度の運用 ・健康診断の実施 | | |
| | 1,603 | (7,947) | (1,550) | | |

| | | | | |
|------------------|---|---|--|------|
| 1-5 | 事業名 | 消防機材等の整備 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | |
| 事業概要 | <p>小型動力ポンプおよび消防車両を計画的に更新する。 老朽化した消防器具置場の改修工事を行う。 平成28年5月31日をもって使用できなくなるアナログ波消防団無線のデジタル化を実施する。</p> | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 消防機材等の更新・整備により、消防団活動の安全確保および消防力の強化・安定を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・小型動力ポンプの更新(平成6年度導入分2台) ・デジタル無線機賃貸借 | <ul style="list-style-type: none"> ・小型動力ポンプの更新(平成7・8年度導入3台) ・デジタル無線機賃貸借 | <ul style="list-style-type: none"> ・小型動力ポンプの更新(平成5～8年度導入4台) ・消防器具置場の改修(第8分団第4部) ・デジタル無線機賃貸借 | |
| | 6,364 | (8,713) | (17,880) | |

| | | | | |
|------------------|---|---|--|------|
| 1-6 | 事業名 | 市民防災ハンドブックの活用推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | |
| 事業概要 | <p>食糧備蓄や災害発生時の行動等を分かりやすく記載した市民防災ハンドブックを作成し、市民に配布する。また、市民への周知を図り、市民防災ハンドブックの活用を推進する。</p> | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 地域コミュニティが薄れる中で、自助・共助の役割を再認識し、市民の防災意識を向上させることにより、災害への対応力の向上を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・市民防災ハンドブックの周知・活用 ・転入者への配付 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民防災ハンドブックの周知・活用 ・転入者への配付 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民防災ハンドブックの更新 ・転入者への配付 | |
| | 0 | (0) | (5,630) | |

| | | | | |
|------------------|---|---|-----------------------------|------|
| 1-7 | 事業名 | 土砂災害対策の充実 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | |
| 事業概要 | 土砂災害防止法にもとづく危険区域の指定にもとづき、地域との協働により新たな土砂災害ハザードマップを作成・配布し、必要に応じて修正を行う。また、土砂災害対応訓練を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 土砂災害にかかる情報連絡体制の充実、関係機関の協力体制の緊密化および防災計画の運用習熟化を図り、併せて市民の防災意識を高める。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・ハザードマップ作成方法の検証 ・土砂災害対応訓練の実施 | ・ハザードマップ作成方法の検討 ・東京都と合同による風水害対策訓練の実施 | ・ハザードマップの作成 ・土砂災害対応訓練の実施 | |
| | 105 | (126) | (3, 210) | |

| | | | | | |
|------------------|--|-------------------|-------------------|------|---|
| 1-8 | 事業名 | 地区防災計画の推進 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | | |
| 事業概要 | 地域防災計画にもとづき、各自主防災組織が中心となり策定する地区防災計画の策定支援を行う。また、自主防災組織において地区防災計画にもとづく訓練・検証の実施を促進する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 地区防災計画にもとづく訓練と検証を継続することにより、実効性を高め、各地区の特性にあわせた地域防災力の向上を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・地区防災計画にもとづく訓練、検証 | ・地区防災計画にもとづく訓練、検証 | ・地区防災計画にもとづく訓練、検証 | | |
| | 0 | (0) | (0) | | |

| | | | | |
|------------------|--|--|--|------|
| 1-9 | 事業名 | 避難行動要支援者支援対策の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | |
| 事業概要 | 災害対策基本法の改正に伴い、避難行動要支援者名簿を作成し関係機関に提供することで情報の共有化を図るとともに、支援体制の強化を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 個別計画の作成や避難訓練の実施により、平時から避難行動要支援者の実態を把握し、災害時における避難支援体制の構築と充実を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援登録者の抽出 ・新規登録者の同意確認 ・関係機関への協力依頼 ・支援体制の構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援登録者の抽出 ・新規登録者の同意確認 ・関係機関への協力依頼 ・支援体制の構築 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援登録者の抽出 ・新規登録者の同意確認 ・関係機関への協力依頼 ・支援体制の構築 | |
| | 3,069 | (1,320) | (1,320) | |

| | | | | | |
|------------------|---|---|---|------|---|
| 1-10 | 事業名 | 防災リーダーの育成 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | | |
| 事業概要 | 自主防災組織の強化と防災リーダーの育成を図るため、特定非営利活動法人日本防災士機構が定める「防災士」の資格を取得した防災リーダーを計画的、継続的に育成する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 防災リーダーの育成により、自主防災組織の活性化を図り、よりきめ細やかな組織活動を促進する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーの育成 ・防災リーダー講習会の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーの育成 ・防災リーダー講習会の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災リーダーの育成 ・防災リーダー講習会の実施 | | |
| | 759 | (759) | (750) | | |

| | | | | |
|------------------|--|-----------------|---------------|------|
| 1-11 | 事業名 | 家具転倒防止器具等支給取付事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | |
| 事業概要 | 市内全域の高齢者、障害者世帯および立川断層帯近傍区域と立川断層帯地震の際に、震度6強以上が想定される区域の世帯を対象として、家具転倒防止器具等の支給および取付け事業を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 支給対象範囲の拡大を図り、平成31年度までに市内住宅への支給率を20%以上とすることで、震災時に居宅内での家具転倒に起因する負傷者の発生を最小限に抑制する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・器具等の支給および取付け | ・器具等の支給および取付け | ・器具等の支給および取付け | |
| | 3,131 | (2,842) | (2,840) | |

| | | | | |
|------------------|--|------------------------------|------------------------------|------|
| 1-12 | 事業名 | 防災行政無線の整備 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 防災課 | | |
| 事業概要 | 固定系防災行政無線の難聴地区対策を進めるとともに、防災機関との連絡体制の強化のため、移動系防災行政無線を防災機関に設置し運用を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 市民に対する災害時等の情報伝達機能を強化し、防災力の向上を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・戸別受信機の導入(難聴地区対策) ・維持管理 | ・個別簡易受信機の導入(難聴地区対策) ・維持管理 | ・個別簡易受信機の導入(難聴地区対策) ・維持管理 | |
| | 10,000 | (4,020) | (4,020) | |

2. 交通安全

| | | | | |
|------------------|--|---|---|------|
| 1-13 | 事業名 | 青梅交通安全協会の活動支援 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 市民安全課 | | |
| 事業概要 | 各年齢層に応じた交通安全教育、広報・啓発活動を推進する青梅交通安全協会の活動を支援する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 市民の交通安全意識の高揚、交通安全知識の普及を図る。 | | | |
| 事業計画 および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識の普及、啓発 街頭指導等への支援 青梅交通安全協会支援のあり方の検討 | <ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識の普及、啓発 街頭指導等への支援 検討結果を踏まえた支援の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 交通安全意識の普及、啓発 街頭指導等への支援 | |
| | 9,657 | (9,593) | (9,590) | |

3. 防犯・消費者保護

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|------|---|
| 1-14 | 事業名 | 安全・安心な学校づくりの推進事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 教育部 教育総務課 | | | |
| 事業概要 | 教育活動や登下校時等の安全指導・管理、安全確保の徹底を図るため、通学路への防犯カメラの設置、既存の学校に設置してある防犯カメラの更新、青色防犯パトロール車への拡声器の整備、子ども110番の家の表示旗の更新等を実施する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 家庭・学校・地域・関係諸機関が相互に連携した安全・安心な学校を実現する。 | | | | |
| 事業計画 および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 通学路および校内防犯カメラの設置 子ども110番の家の整備 防犯ブザーの給付 | <ul style="list-style-type: none"> 通学路および校内防犯カメラの設置 子ども110番の家の整備 防犯ブザーの給付 | <ul style="list-style-type: none"> 通学路および校内防犯カメラの設置 子ども110番の家の整備 防犯ブザーの給付 | | |
| | 25,199 | (24,034) | (26,520) | | |

| | | | | |
|------------------|--|--|--|------|
| 1-15 | 事業名 | 消費者保護の充実 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 市民安全課 | | |
| 事業概要 | 多様で高度化する詐欺等の消費者問題に対応するため、消費生活相談員のスキルアップを図る等消費者相談体制を充実・強化する。また、消費者被害の未然防止や消費者意識の高揚を図るため、消費者教育や啓発講座等を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 消費生活相談員の質的向上を図り、多様な対応ができる相談体制を整備し、市民が安心できる消費生活を確保するとともに、啓発事業により市民の消費者意識を高める。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 消費者相談の実施 消費生活相談員のスキルアップ 特殊詐欺等消費者被害防止 | <ul style="list-style-type: none"> 消費者相談の実施 消費生活相談員のスキルアップ 特殊詐欺等消費者被害防止 | <ul style="list-style-type: none"> 消費者相談の実施 消費生活相談員のスキルアップ 特殊詐欺等消費者被害防止 | |
| | 4,161 | (3,601) | (3,600) | |

4. 住宅

| | | | | |
|------------------|--|---|---|------|
| 1-16 | 事業名 | 市営住宅長寿命化計画の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 住宅課 | | |
| 事業概要 | 昭和56年5月以前に建設された旧耐震住宅の耐震改修工事を実施するとともに、緊急時避難の安全性に問題がある住棟については、二方向の避難経路を確保する改善を行う。また、生活様式の変化に対応した設備の適切な改善を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 予防保全的な維持管理および耐久性を向上させる改善により、市営住宅の長寿命化を図り、将来にわたり安全で快適な住まいを確保する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 長淵第4住宅耐震補強・外壁改修ほか設備改修工事 千ヶ瀬第3住宅耐震改修設計委託 | <ul style="list-style-type: none"> 千ヶ瀬第3住宅1号棟耐震・二方向・給排水・外壁・電気設備等改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> 千ヶ瀬第3住宅2号棟耐震・二方向・給排水・外壁・電気設備等改修工事 | |
| | 202,747 | (79,835) | (77,790) | |

| | | | | |
|------------------|--|--|--------------------|------|
| 1-17 | 事業名 | 課題のある市営住宅の撤去事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 住宅課 | | |
| 事業概要 | 耐用年数を経過しており、市営住宅長寿命化計画で用途廃止予定住宅に位置付けている安全性確保に課題がある住宅に居住する者の転居を促し、すべての転居が完了次第、棟ごとに用途廃止、撤去工事を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 平成30年度までに、課題がある市営住宅からの移転を完了させ、居住者の安全を確保する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・居住者との交渉 ・10戸の移転 | ・居住者との交渉 ・5戸の移転 ・東青梅住宅・霞台第2住宅解体工事および用地測量(5棟) | ・居住者との交渉 ・5戸の移転 | |
| | 1,710 | (40,322) | (850) | |

| | | | | |
|------------------|--|---------------------------|----------------------------|------|
| 1-18 | 事業名 | 木造戸建住宅耐震化事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 住宅課 | | |
| 事業概要 | 青梅市耐震改修促進計画にもとづき、昭和56年5月以前の旧耐震基準により建築された木造戸建住宅の耐震診断および耐震改修に対し支援を行い、耐震化を促進する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 市内の木造住宅の耐震化を促進し、安全で安心して暮らせるための住宅整備、災害に強いまちづくりを推進する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・耐震診断補助 10件 ・耐震改修補助 5件 | ・耐震診断補助 10件 ・耐震改修補助 5件 | ・耐震診断補助 20件 ・耐震改修補助 10件 | |
| | 3,049 | (3,048) | (6,050) | |

| | | | | |
|------------------|---|--|--|------|
| 1-19 | 事業名 | 緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 生活安全部 住宅課 | | |
| 事業概要 | 緊急輸送道路沿道建築物の耐震診断、耐震補強設計および耐震改修等に対し支援を行い、耐震化を促進する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を促進し、輸送路を確保することにより、震災発生時の救命救急活動、消火活動、広域的避難を可能にするとともに復旧・復興等災害に強いまちづくりを推進する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 耐震診断補助 2件 耐震補強設計補助 1件 耐震改修補助 3件 | <ul style="list-style-type: none"> 耐震補強設計補助 1件 耐震改修補助 3件 | <ul style="list-style-type: none"> 耐震補強設計補助 1件 耐震改修補助 3件 | |
| | 46,852 | (36,699) | (37,620) | |

| | | | | | |
|------------------|---|--|---|------|---|
| 1-20 | 事業名 | 新たな住宅施策の推進 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 生活安全部 住宅課 | | | |
| 事業概要 | 市営住宅の効率的な運営を図るため民間住宅の借り上げについて調査・検討を行う。各種事業者と行政との情報交換や協議の場を形成し、連携・協調した住宅施策を推進する。また、分譲マンションの管理を適正に行い良好な住環境の確保が図れるよう管理組合への支援を行う。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 快適で安全・安心な、誰もが長く大切に住み続けていくことができる住まいづくり、まちづくりを推進する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 関係者による情報交換・協議等 分譲マンションアドバイザー派遣の検討 民間住宅の借上げ検討 | <ul style="list-style-type: none"> 関係者による情報交換・協議等 分譲マンションアドバイザー派遣の検討 民間住宅の借上げ検討 | <ul style="list-style-type: none"> 関係者による情報交換・協議等 分譲マンションアドバイザーの派遣 マンション実態調査 | | |
| | 90 | (135) | (1,420) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|---|---|------|---|
| 1-21 | 事業名 | 空家対策事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 生活安全部 住宅課 | | | |
| 事業概要 | 空家等対策の推進に関する特別措置法へ対応する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 空家の適正な維持管理による住環境の向上を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 懇談会の設置・開催 ・ 空家バンクの全市化 ・ 空家改修補助の実施 ・ 空家等対策計画を2ヶ年で策定(28・29年度) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 懇談会の開催 ・ 空家バンクの促進 ・ 空家改修補助の実施 ・ 実態調査、データ更新 ・ 空家等対策計画の策定 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会の設置・開催 ・ 空家バンクの促進 ・ 空家改修補助の実施 ・ 実態調査、データ更新 ・ 特定空家の認定 | | |
| | 1, 517 | (1, 891) | (1, 580) | | |

5. 公園・緑地

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|------|--|
| 1-22 | 事業名 | 公園施設長寿命化計画の推進 | | 総合戦略 | |
| | 担当課 | まちづくり経済部 公園緑地課 | | | |
| 事業概要 | 策定した公園施設長寿命化計画にもとづいて、予防保全的管理による計画的な修繕・改築を進める。また、高齢者や障害者に対する園内バリアフリー化、発災時の避難や活動の拠点としての機能向上に取り組む。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 公園施設長寿命化計画を推進し、安全性の確保およびライフサイクルコストの縮減を進め、既存の公園施設の有効活用を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園施設の改築等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園施設の改築等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園施設の改築等 | | |
| | 37, 162 | (36, 589) | (36, 580) | | |

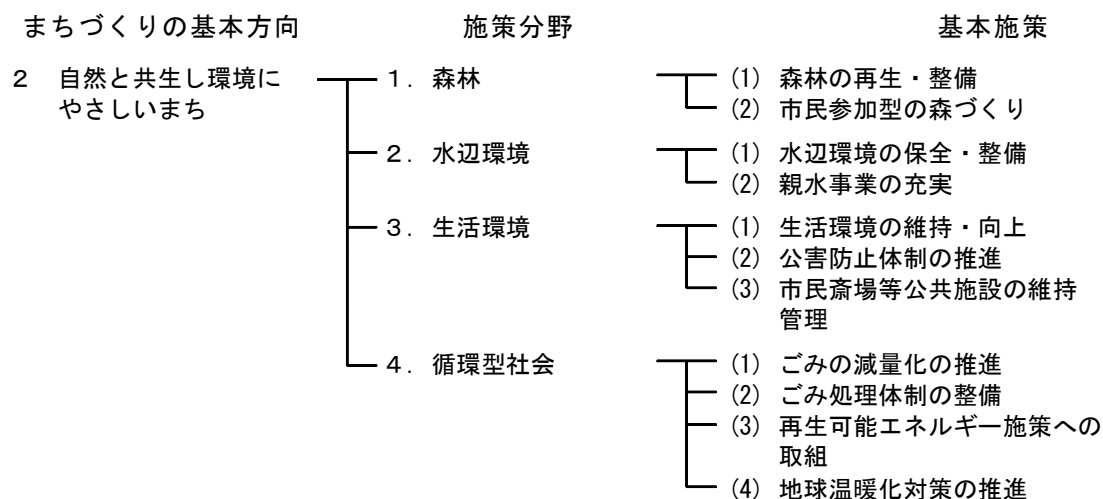
| | | | | |
|------------------|--|---|----------|------|
| 1-23 | 事業名 | 釜の淵緑地の整備 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 企画部 企画政策課・まちづくり経済部 公園緑地課・市民部 スポーツ推進課 | | |
| 事業概要 | 釜の淵公園水泳場を含め、釜の淵緑地の計画的かつ効果的な改修を進める。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 緑地の保全や憩いの場等の提供、良好な景観の形成など、快適な環境と多様な機能の拡充を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・整備計画の検討 | ・整備計画の検討 | ・整備計画の検討 | |
| | 0 | (0) | (一) | |

| | | | | |
|------------------|--|----------------------------------|----------------------------------|------|
| 1-24 | 事業名 | 緑の基本計画の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | まちづくり経済部 公園緑地課 | | |
| 事業概要 | 都市緑地法第4条にもとづき策定した緑の基本計画の推進を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 緑地の適正な保全や緑化の推進を図り、市民の安全かつ快適な生活環境を構築する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・推進体制構築に向けた 庁内連絡委員会の設置 | ・庁内連絡委員会の開催 ・計画の推進および進行 管理 | ・庁内連絡委員会の開催 ・計画の推進および進行 管理 | |
| | 0 | (0) | (0) | |

| | | | | |
|------------------|---|---|--|------|
| 1-25 | 事業名 | 青梅の森事業計画の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | まちづくり経済部 公園緑地課 | | |
| 事業概要 | 青梅の森を適正に管理できるよう通路整備などを実施する。また、運営協議会を設置し、ボランティアの登録制度など協働による管理を進めるとともに、森林資源の利用を進める。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 適正な管理により、生物多様性の回復と保全を図る。また、良好な樹林状態を回復することを基本に、市民の身近な環境学習の場、レクリエーションの場等豊かな自然を体感できる場として未来へ引き継ぐ。 | | | |
| 事業計画 および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・間伐 ・生物多様性保全の実施 ・運営協議会の開催 ・広場等整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・間伐 ・生物多様性保全の実施 ・運営協議会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・間伐 ・生物多様性保全の実施 ・運営協議会の開催 ・斜面保護工事 | |
| | 39,010 | (59,141) | (106,490) | |

第2章 自然と共生し環境にやさしいまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

| 指 標 | 単位 | 過去 | 基本計画 開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|------------------------|------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 森林再生事業による間伐と 枝打ちの促進 | ha | 80.70 | 861.43 | 1057.79 | 1,855 |
| | | H15.3.31 | H25.3.31 | H28.3.31 | H35.3.31 |
| 多摩川の水質汚濁度 (BOD※) | mg/l | 御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5 | 御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5 | 御岳橋 0.5 多摩川橋 <0.5 | 御岳橋 0.5 多摩川橋 0.5 |
| | | H14年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |
| 1人1日当たりの燃やすご み排出量 | g | 593 | 567 | 560 | 510 |
| | | H15.3.31 | H25.3.31 | H28.3.31 | H35.3.31 |
| 公共施設による太陽光発電 能力 | kW | 30 | 40 | 290 | 1,000 |
| | | H22.7 | H25.3.31 | H28.3.31 | H35.3.31 |

※BODとは、生物化学的酸素要求量(Biochemical Oxygen Demand)のことで、微生物が、水中の有機物を二酸化炭素や水などに分解するため必要とする酸素の量です。河川の汚濁の度合いを示す代表的な数値であり、生活環境の保全に関する環境基準では、御岳橋で1mg/l以下、多摩川橋で2mg/l以下とされています。

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

| | | | |
|----------|-------------------|-----------------|---|
| 1. 森林 | | | |
| 2-1 | 森林整備事業 | (1) | ● |
| 2-2 | 森林ボランティア育成事業 | (2) | ● |
| 2. 水辺環境 | | | |
| 2-3 | 親水施設整備事業 | (1) | |
| 2-4 | 親水事業の推進 | (2) | |
| 3. 生活環境 | | | |
| 2-5 | 飼い主のいない猫対策事業 | (1) | |
| 2-6 | 環境基本計画の策定・推進 | (1) | |
| 2-7 | し尿処理施設の長寿命化事業 | (3) | |
| 2-8 | 青梅市墓地公園の合葬式墓地造成事業 | 【新規】 (3) | |
| 4. 循環型社会 | | | |
| 2-9 | 生ごみ堆肥化推進事業 | (1) | |
| 2-10 | ごみの排出抑制と資源化推進事業 | (1) | |
| 2-11 | ごみ減量講座と施設見学会事業 | (1) | |
| 2-12 | 新エネルギー利用等促進事業 | (3) | |

1. 森林

| | | | | | |
|------------------|---|--------------|--------------|------|---|
| 2-1 | 事業名 | 森林整備事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 農林課 | | | |
| 事業概要 | 荒廃が進んでいるスギ・ヒノキの人工林に対して、東京都の補助金を利用した「多摩森林再生事業」「花粉の少ない森づくり事業」により森林の適切な整備を進める。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 適切な森林整備により、森林が本来持っている治水や光合成による地球温暖化防止機能、さらには花粉対策などの公益的機能の向上を目指す。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・間伐および枝打ちの実施 | ・間伐および枝打ちの実施 | ・間伐および枝打ちの実施 | | |
| | 89,790 | (118,425) | (118,420) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|---------------------|----------------------|------|---|
| 2-2 | 事業名 | 森林ボランティア育成事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 農林課 | | | |
| 事業概要 | 交流協定を締結している杉並区との共同で森林ボランティア育成講座を実施するとともに、自主ボランティアグループの活動を紹介する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 森林の持つ公益的機能の維持、向上に向けて、自主的なボランティアグループの活動による森林の整備を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・育成講座の実施 (年6回開催) | ・育成講座の実施 (年6回開催) | ・第9期講座の1年目として基礎編を行う。 | | |
| | 938 | (927) | (920) | | |

2. 水辺環境

| | | | | |
|------------------|--|----------------------|----------|------|
| 2-3 | 事業名 | 親水施設整備事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 企画部 企画政策課・建設部 計画調整担当 | | |
| 事業概要 | 河川周辺の景観および水質の保全と自然や河川と親しむ環境を整えるため、親水施設の検討、整備を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 水辺の利用と親水施設の整備を行うことにより、人々のふれあいの場を増やすとともに、豊かな自然を体感し、自然との共存意識を喚起する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・基本構想の検討 | ・基本構想の検討 | ・基本構想の検討 | |
| | 0 | (0) | (一) | |

| | | | | |
|------------------|--|-----------------|-----------------|------|
| 2-4 | 事業名 | 親水事業の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 環境政策課 | | |
| 事業概要 | 「おうめ水辺の楽校運営協議会」に参加する4つの市民団体に委託し、子どもたちと保護者を対象にした体験型事業や学習型事業を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 川と親しむ機会づくりを促進し、市民や滞在者に水辺環境の保全を呼びかけ、良好な自然、生態系空間の保持を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・体験型および学習型事業の実施 | ・体験型および学習型事業の実施 | ・体験型および学習型事業の実施 | |
| | 1,245 | (1,245) | (1,240) | |

3. 生活環境

| | | | | |
|------------------|--|--|--|------|
| 2-5 | 事業名 | 飼い主のいない猫対策事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 環境政策課 | | |
| 事業概要 | 飼い主のいない猫が地域住民の理解を得られるよう周知・啓発等を行うとともに、飼い主のいない猫の里親会を開催する団体などに不妊・去勢手術費や活動費を補助する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 飼い主のいない猫を減らすことにより、周囲の被害をなくし、周辺環境の向上を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・飼い主のいない猫対策事業の補助金交付 ・協働による里親会実施 ・さくらねこ無料不妊手術事業参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・飼い主のいない猫対策事業の補助金交付 ・協働による里親会実施 ・さくらねこ無料不妊手術事業参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・飼い主のいない猫対策事業の補助金交付 ・協働による里親会実施 ・さくらねこ無料不妊手術事業参加 | |
| | 1,096 | (882) | (890) | |

| | | | | |
|------------------|--|--|--|------|
| 2-6 | 事業名 | 環境基本計画の策定・推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 環境政策課 | | |
| 事業概要 | 低炭素社会の構築、循環型社会の更なる推進、生物多様性の保全を重点アクションプランとする、第2次青梅市環境基本計画を推進する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 重点アクションプランを中心に第2次環境基本計画を推進する中で、生物多様性基本法にもとづいた生物多様性地域戦略の策定を進める。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画の推進 ・生き物調査の実施 ・生物多様性地域戦略の策定 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画の推進 ・生き物調査の実施 ・生物多様性地域戦略の策定 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画の推進 ・生物多様性地域戦略の策定・推進 | |
| | 9,336 | (11,238) | (4,000) | |

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 2-7 | 事業名 | し尿処理施設の長寿命化事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 清掃リサイクル課 | | |
| 事業概要 | 設備等の老朽化が進行しているし尿処理施設について、長寿命化計画にもとづく設備改良を実施するとともに、適切な維持管理に努めることで、快適な生活環境の保全を図る。また、効率的な運用を図るため、広域的な処理を進める。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 長寿命化計画にもとづく基幹的設備改良工事等を実施し、老朽化したし尿処理施設の延命化を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 生活環境影響調査 工事発注支援業務 都市計画決定 | <ul style="list-style-type: none"> 基幹的設備改良工事 工事監理業務委託 工事発注支援業務 | <ul style="list-style-type: none"> 基幹的設備改良工事 工事監理業務委託 | |
| | 19,651 | (110,246) | (510,300) | |

【新規】

| | | | | |
|------------------|---|--|--|------|
| 2-8 | 事業名 | 青梅市墓地公園の合葬式墓地造成事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 環境政策課 | | |
| 事業概要 | 墓地に関する市民意識調査の結果や、青梅市墓地公園のあり方検討委員会の報告書で指摘された課題も踏まえて、青梅市墓地公園に合葬式墓地（樹林墓地および無縁墓所）を造成する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 青梅市墓地公園に造成する合葬式墓地の設計および造成工事を行う。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 青梅市墓地のあり方検討委員会報告書の作成 | <ul style="list-style-type: none"> 青梅市墓地公園に造成する合葬式墓地の設計 | <ul style="list-style-type: none"> 青梅市墓地公園に合葬式墓地を造成 | |
| | 0 | (3,000) | (20,000) | |

4. 循環型社会

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 2-9 | 事業名 | 生ごみたい肥化推進事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 清掃リサイクル課 | | |
| 事業概要 | 燃やすごみの排出量削減に有効な生ごみのたい肥化を啓発・推進するため、市民団体と協働によるダンボールコンポストを活用した生ごみたい肥化講習会を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 講習会を通じて参加者相互の交流を図り、生ごみのたい肥化を推進することにより、生ごみの資源循環を図る。また、子ども向けの講習会も実施する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の実施 ・生ごみたい肥による作物の育成実験 ・生ごみたい肥の実験畑での受入 | <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の実施 ・生ごみたい肥による作物の育成実験 ・生ごみたい肥の実験畑での受入 | <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の実施 ・生ごみたい肥による作物の育成実験 ・生ごみたい肥の実験畑での受入 | |
| | 228 | (214) | (210) | |

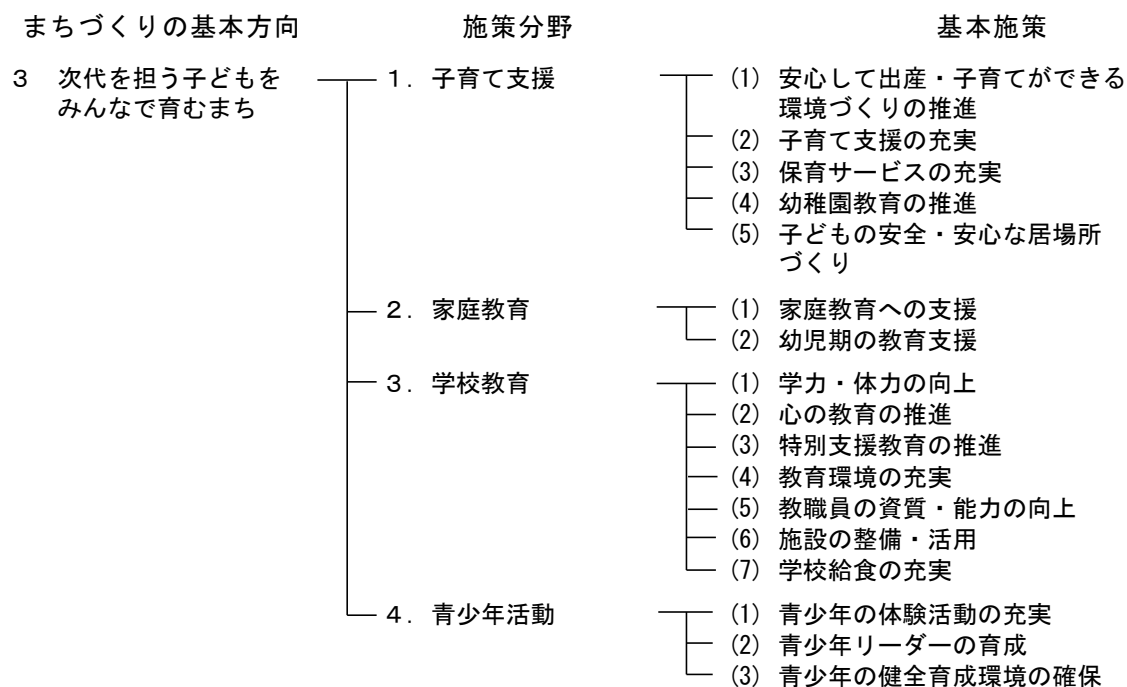
| | | | | |
|------------------|---|---|--|------|
| 2-10 | 事業名 | ごみの排出抑制と資源化推進事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 清掃リサイクル課 | | |
| 事業概要 | 青梅市一般廃棄物処理基本計画にもとづき、更なる啓発活動を推進し、ごみの減量化や分別の徹底による資源化の向上および集団回収の促進を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | ごみ減量・リサイクルへの自主的な取組と意識啓発を促進し、循環型社会の構築を図る。中でも、青梅市においてごみ組成率の高い紙類の資源化、草木の軽量化を重点的に啓発し、燃やすごみの減量を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量推進運動 ・集団回収の推進 ・広報等ごみ減量啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量推進運動 ・集団回収の推進 ・広報等ごみ減量啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量推進運動 ・集団回収の推進 ・広報等ごみ減量啓発 ・リサイクルハンドブックの発行 | |
| | 58,686 | (57,777) | (62,840) | |

| | | | | |
|------------------|--|---|---|------|
| 2-11 | 事業名 | ごみ減量講座と施設見学会事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 清掃リサイクル課 | | |
| 事業概要 | 「4R」の意義を理解し、ごみ減量化の意識を向上させるために、各年齢層に対応する出前講座を拡充するとともに、講師を招いた講演会を実施する。また、適切なごみ分別を推進するために、ごみ処理施設見学会を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | ごみ減量や分別、リサイクルについての認識を深め、自主的な取組と意識啓発を促進し、ごみの減量化を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 出前講座の実施 講演会の実施 施設見学会の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 出前講座の実施 講演会の実施 施設見学会の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 出前講座の実施 講演会の実施 施設見学会の実施 | |
| | 356 | (291) | (290) | |

| | | | | |
|------------------|--|--|--|------|
| 2-12 | 事業名 | 新エネルギー利用等促進事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 環境政策課 | | |
| 事業概要 | 「太陽光発電にかかる公共施設の屋根貸し事業」により再生可能エネルギーの導入を促進する。さらに、小水力発電、バイオマスやスマートグリッドなどの調査研究を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 新エネルギー等の導入を促進し、小規模で分散型のエネルギーシステムやエネルギーの地産地消システムの構築を推進する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設の屋根貸し事業の実施 木質バイオマス・小水力発電の調査研究 | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設の屋根貸し事業の実施 木質バイオマス・小水力発電の調査研究 | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設の屋根貸し事業の実施 木質バイオマス・小水力発電の調査研究 | |
| | 0 | (0) | (0) | |

第3章 次代を担う子どもをみんなで育むまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

| 指 標 | 単位 | 過去 | 基本計画 開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|---------------------------|----|------------|--------------|------------|------------|
| 保育所待機児童数 ○ | 人 | 161 | 19 | 25 | 0 |
| | | H15. 4. 1 | H25. 4. 1 | H28. 4. 1 | H35. 4. 1 |
| 学童保育所待機児童数 ○ | 人 | 65 | 41 | 223 | 0 |
| | | H15. 4. 1 | H25. 4. 1 | H28. 4. 1 | H35. 4. 1 |
| 放課後子ども教室(夕やけ ランド)の実施校数 | 校 | 1 | 6 | 10 | 16 |
| | | H20. 3. 31 | H25. 3. 31 | H28. 3. 31 | H34. 3. 31 |

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(KPI)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

| | | | |
|----------|-------------------|-----|---|
| 1. 子育て支援 | | | |
| 3-1 | 子ども・子育て支援事業計画の推進 | (1) | |
| 3-2 | 子育て支援事業 | (2) | ● |
| 3-3 | 子ども家庭支援事業 | (2) | |
| 3-4 | ファミリー・サポート・センター事業 | (2) | |
| 3-5 | 学童保育事業 | (3) | ● |
| 3-6 | 短期臨時学童保育事業 | (3) | ● |
| 3-7 | 保育所施設整備事業 | (3) | ● |
| 3-8 | 保育所バスステーション事業 | (3) | ● |
| 3-9 | 放課後子ども教室事業 | (5) | ● |
| 2. 家庭教育 | | | |
| 3-10 | 家庭教育啓発事業 | (1) | |
| 3-11 | 幼児教育事業 | (2) | |
| 3. 学校教育 | | | |
| 3-12 | 学力向上事業 | (1) | ● |
| 3-13 | 学びと心の育成事業 | (1) | |
| 3-14 | 児童生徒の学校適応体制の充実 | (2) | |
| 3-15 | 特別支援教育事業 | (3) | |
| 3-16 | 学校教材・備品の整備 | (4) | |
| 3-17 | 教育の情報化推進事業 | (4) | ● |
| 3-18 | 小・中学校校舎トイレ改修事業 | (6) | |
| 3-19 | 小・中学校図書室等空調整備事業 | (6) | |
| 3-20 | 調理場統合の検討 | (7) | |
| 4. 青少年活動 | | | |
| 3-21 | 体験活動の充実 | (1) | ● |
| 3-22 | 若者の自立等支援事業 | (3) | |
| 3-23 | 青少年健全育成事業 | (3) | ● |

1. 子育て支援

| | | | | |
|------------------|--|--|---|------|
| 3-1 | 事業名 | 子ども・子育て支援事業計画の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子育て推進課 | | |
| 事業概要 | 「子ども・子育て支援法」において定められた「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画にもとづく施策を推進する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 「子ども・子育て支援事業計画」で設定する目標の達成に向け、総合的な子育て支援策を推進し、安心して出産・子育てができる社会を目指す。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催(年5回) ・計画にもとづく事業の推進 ・事業の検証と見直し | <ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催(年5回) ・計画にもとづく事業の推進 ・事業の検証と見直し | <ul style="list-style-type: none"> ・会議の開催(年10回) ・計画にもとづく事業の推進 ・次期計画策定のためのニーズ調査 | |
| | 781 | (766) | (3, 550) | |

| | | | | |
|------------------|--|--|--|---|
| 3-2 | 事業名 | 子育て支援事業 | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子ども家庭支援課 | | |
| 事業概要 | 子育て支援センター、市民センター、保育所、自治会館等において、集団での遊びの実施や地域の親子の触れ合い交流や活動の場の提供を行う。 また、子育てに関する相談事業等を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 総合的な子育て支援策を推進するとともに、既存施設等の活用を図りながら子育てしやすい環境の整備を進め、安心して出産・子育てができる社会を目指す。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業の実施 ・子育てひろば事業等の実施・拡充 ・交通機関利用児童通学費補助事業の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業および子育てひろば事業等の実施 ・交通機関利用児童通学費補助事業の拡充実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業および子育てひろば事業等の実施 ・交通機関利用児童通学費補助事業の実施 | |
| | 63, 397 | (49, 765) | (49, 760) | |

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 3-3 | 事業名 | 子ども家庭支援事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子ども家庭支援課 | | |
| 事業概要 | 子ども家庭支援センターにおいて、子どもと家庭に関する相談に応じる。また、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、悩みを持つ子育て家庭の早期発見と状況の把握に努め、支援と調整を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 子育て支援に関する情報提供や子どもと家庭に関する総合相談を行うことにより、子どもと家庭に関する支援ネットワークを構築し、子どもたちの健全な育成を目指す。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの管理運営 ・訪問員による家庭訪問 ・子育て総合相談の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの管理運営 ・訪問員による家庭訪問 ・子育て総合相談の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの管理運営 ・訪問員による家庭訪問 ・子育て総合相談の実施 | |
| | 52,422 | (52,300) | (54,020) | |

| | | | | |
|------------------|--|--|--|------|
| 3-4 | 事業名 | ファミリー・サポート・センター事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子ども家庭支援課 | | |
| 事業概要 | 育児の援助を行う人と、受ける人が会員登録し、子育て中の保護者の短期就労や急な用事、出張、病気などにより、一時的に保育所などへの送迎や子どもの預かり等の子育て支援を行う有償の相互援助活動を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | ファミリー・サポート・センター事業の推進を図ることにより、子育て家庭の援助および地域での支え合いによる子育て機能の充実を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・育児支援活動 ・講習および指導の実施 ・会員間の交流等 | <ul style="list-style-type: none"> ・育児支援活動 ・講習および指導の実施 ・会員間の交流等 | <ul style="list-style-type: none"> ・育児支援活動 ・講習および指導の実施 ・会員間の交流等 | |
| | 6,987 | (6,990) | (6,990) | |

| | | | | | |
|------------------|--|--|--|------|---|
| 3-5 | 事業名 | 学童保育事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子育て推進課 | | | |
| 事業概要 | 子ども・子育て支援法の施行に伴い、学童保育事業についての新たな国の基準等にもとづき、施設等の拡充や受入学年の拡大などについて対応する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 既存施設の拡充を行い、入所児童の受入学年の拡大および待機児童の解消を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 学童保育所を整備 放課後子ども総合プランの推進 | <ul style="list-style-type: none"> 学童保育所を整備 放課後子ども総合プランの推進 | <ul style="list-style-type: none"> 学童保育所を整備 放課後子ども総合プランの推進 | | |
| | 525,188 | (417,279) | (496,460) | | |

| | | | | | |
|------------------|---|---|---|------|---|
| 3-6 | 事業名 | 短期臨時学童保育事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子育て推進課 | | | |
| 事業概要 | 学童保育所の待機児童対策として、特に要望がある夏季長期休業中に、短期臨時学童保育所を開設する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 学童保育所への入所児童を拡大し、待機児童の減少を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 短期臨時学童保育所の開設(計2校) 事業検証 | <ul style="list-style-type: none"> 短期臨時学童保育所の開設(計2校) 事業検証 | <ul style="list-style-type: none"> 短期臨時学童保育所の開設(計2校) 事業検証 | | |
| | 5,000 | (5,011) | (5,010) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|---------------|-------------|------|---|
| 3-7 | 事業名 | 保育所施設整備事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子育て推進課 | | | |
| 事業概要 | 老朽化する保育所の施設整備を行い、施設の耐震化や定員増を図る。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 保育所の施設整備を行い、施設の耐震化や定員増を図ることにより待機児童の解消を実現する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・青梅みどり第二保育園(2年目) ・かすみ台第三保育園(2年目) ・成木保育園(2年目) | ・河辺保育園改修工事 | ・今井保育園(1年目) | | |
| | 463,562 | (60,623) | (2,520) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|---------------|--------|------|---|
| 3-8 | 事業名 | 保育所バスステーション事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子育て推進課 | | | |
| 事業概要 | 待機児童の多い地区(市内東部地区)に保育ステーションを設け、そこから専用バスで受け入れ可能な保育園(主に市内西部・北部地区の保育園)まで送迎することにより、待機児童の解消と、入所定員の確保を図る。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 市内東部地区の待機児童の解消と、市内西部・北部地区の入所定員の確保を実現する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・事業の再検討 | | | | |
| | 0 | (0) | (0) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|---|---|------|---|
| 3-9 | 事業名 | 放課後子ども教室事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 教育部 社会教育課 | | | |
| 事業概要 | 放課後に学校の余裕教室等を活用して、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得ながら、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動機会を提供する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 心豊かで健やかな子どもたちを育む環境づくりおよび子どもたちの安全で安心な活動拠点(居場所)づくりの推進に資する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・放課後子ども教室(夕やけランド)推進事業(11校) ・学童保育事業との連携 | ・放課後子ども教室(夕やけランド)推進事業(13校) ・学童保育事業との連携 | ・放課後子ども教室(夕やけランド)推進事業(14校) ・学童保育事業との連携 | | |
| | 18,556 | (19,436) | (20,490) | | |

2. 家庭教育

| | | | | | |
|------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|------|--|
| 3-10 | 事業名 | 家庭教育啓発事業 | | 総合戦略 | |
| | 担当課 | 教育部 社会教育課 | | | |
| 事業概要 | 地域における家庭教育支援者養成のための研修も兼ねた家庭教育に関する講演会・ワークショップの開催や、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けた「早寝早起き朝ごはん」等の普及啓発を実施する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 子どもの教育に対する家庭の役割を改めて喚起し、生活習慣の確立等家庭教育に関する理解を深めるとともに、関係団体との連携を通じ、家庭教育の向上を目指す。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・家庭教育啓発事業(家庭教育講演会、家庭のスローガンの周知等)の実施 | ・家庭教育啓発事業(家庭教育講演会、家庭のスローガンの周知等)の実施 | ・家庭教育啓発事業(家庭教育講演会、家庭のスローガンの周知等)の実施 | | |
| | 115 | (115) | (110) | | |

| | | | | |
|------------------|--|------------------|------------------|------|
| 3-11 | 事業名 | 幼児教育事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 教育部 社会教育課 | | |
| 事業概要 | 市民センター体育館等で小学校入学前の乳幼児とその親を対象に、体育遊びや季節の行事等を通して、集団で遊ぶ場、親子で触れ合う場、交流の場を提供する事業を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 乳幼児教育事業による集団での遊びや親子での触れ合いを通じ、また、親同士の仲間づくりや情報共有を図ることにより、乳幼児期の子どもの発達を地域で支え、子どもたちの健やかな成長を目指す。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・未就学児の乳幼児教育事業の実施 | ・未就学児の乳幼児教育事業の実施 | ・未就学児の乳幼児教育事業の実施 | |
| | 1,625 | (1,649) | (1,640) | |

3. 学校教育

| | | | | | |
|------------------|--|--|--|------|---|
| 3-12 | 事業名 | 学力向上事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 教育部 指導室 | | | |
| 事業概要 | 研究指定校による研究、指導資料集等の作成、図書館支援員の配置など学習環境の整備を行うとともに、家庭学習の定着を図る。 デジタル教材や家庭学習リーフレット等を活用する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 学力向上に向けて、学習環境の整備や教員の研修等を行い、家庭学習の定着化による児童・生徒の学習意欲を高めるとともに、「青梅サタデースクール」の市内全地区への拡充や、東京都と連携した放課後等の補習を実施する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・青梅サタデースクール、学力ステップアップ事業の実施 ・研究指定校・モデル校の実施・図書館支援員の配置など | ・青梅サタデースクール、学力ステップアップ事業の実施 ・研究指定校・モデル校の実施・図書館支援員の配置など | ・青梅サタデースクールの実施 ・研究指定校・モデル校の実施・図書館支援員の配置など | | |
| | 25,457 | (24,930) | (12,940) | | |

| | | | | |
|------------------|--|-----------------------------|-----------------------------|------|
| 3-13 | 事業名 | 学びと心の育成事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 教育部 指導室 | | |
| 事業概要 | 「いじめ問題」「学力向上」等を中心とした教育活動、音楽、読書活動および地域との連携活動において、特色ある学校づくりの取組を推進する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 地域と学校に誇りを持ち、夢を持って、たくましく時代を切り拓いていく児童・生徒の育成を目指す。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・学校教育の課題解決や教育活動の活性化を図る事業の実施 | ・学校教育の課題解決や教育活動の活性化を図る事業の実施 | ・学校教育の課題解決や教育活動の活性化を図る事業の実施 | |
| | 14,000 | (14,000) | (14,000) | |

| | | | | |
|------------------|--|---|---|------|
| 3-14 | 事業名 | 児童生徒の学校適応体制の充実 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 教育部 指導室 | | |
| 事業概要 | 不登校児童・生徒に対応するとともに、学校、教育相談所と連携し、いじめ、暴力行為、児童虐待等の生活指導上の課題への対応を図る。適応指導教室の指導環境の整備を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 「青梅市いじめの防止に関する条例」制定に伴う積極的な対応。不登校やいじめ、暴力行為、児童虐待等対策を充実することにより、いじめや不登校のない学校を目指す。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・適応指導教室指導員配置 ・指導環境の整備 ・スクールソーシャルワーカーの配置 | ・適応指導教室指導員配置 ・指導環境の整備 ・スクールソーシャルワーカーの配置 | ・適応指導教室指導員配置 ・指導環境の整備 ・スクールソーシャルワーカーの配置 | |
| | 5,378 | (5,434) | (5,430) | |

| | | | | |
|------------------|--|--|--|------|
| 3-15 | 事業名 | 特別支援教育事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 教育部 教育指導担当 | | |
| 事業概要 | 小・中学校における校内体制の整備、教育的支援の充実を図るとともに、教育活動支援員の配置の拡充を図る。また、小・中学校別、障害種別に応じて入級可能な特別支援学級の整備を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 学校・家庭・地域および関係機関との密接な連携のもとに、乳幼児期から学校卒業後までのライフステージを見通した特別支援教育を展開し、発達障害を含め障害のある児童・生徒一人ひとりの能力を伸張する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校(東小を除く)への特別支援教室の導入準備 ・教育活動支援員の配置 ・研修会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校(東小を除く)への特別支援教室の一部実施および、導入準備 ・教育活動支援員の配置 ・研修会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校(東小を除く)で特別支援教室の実施 ・教育活動支援員の配置 ・研修会の開催 | |
| | 34,827 | (79,430) | (37,720) | |

| | | | | |
|------------------|--|--|--|------|
| 3-16 | 事業名 | 学校教材・備品の整備 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 教育部 指導室 | | |
| 事業概要 | 老朽化した教材、指導用備品を更新・修理するとともに、学習指導要領や時代に即した教材の整備・充実を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 教材、指導用備品を計画的に更新・修理することにより、学習指導における教育効果を高める。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・学校指導備品(図書、音楽教材、理科備品等)の更新、整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校指導備品(図書、音楽教材、理科備品等)の更新、整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校指導備品(図書、音楽教材、理科備品等)の更新、整備 | |
| | 22,540 | (24,191) | (24,630) | |

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|------|---|
| 3-17 | 事業名 | 教育の情報化推進事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 教育部 指導室 | | | |
| 事業概要 | 安定的で効率的なシステムの構築・運用、校内無線LANの整備、ハードウェア・ソフトウェアの継続的な導入・更新等を行う。校務支援システムを導入して校務の効率化を図る。情報セキュリティ対策に統一的に取り組む。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | タブレットPCや電子黒板等のICTを活用した学習活動の効果を検証するとともに、校務支援システムの導入・運用により教育の情報化を推進する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・小学校サーバ、教育用PC等更新 ・情報セキュリティ対策の実施 | ・校務システム導入・運用 ・小学校サーバ、教育用PC等更新 ・情報セキュリティ対策の実施 | ・校務システム導入・運用 ・中学校サーバ、教育用PC等更新 ・情報セキュリティ対策の実施 | | |
| | 121,023 | (129,101) | (152,090) | | |

| | | | | | |
|------------------|--------------------------------------|---|---|------|--|
| 3-18 | 事業名 | 小・中学校校舎トイレ改修事業 | | 総合戦略 | |
| | 担当課 | 教育部 施設課 | | | |
| 事業概要 | 老朽化する校舎トイレの施設整備を行い、設備の快適性や機能性向上を図る。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 平成32年度までに、順次計画的に小・中学校25校のトイレ改修を実施する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | | ・基本・実施設計(5校) (小3校・中2校) ・改修工事(3校) (三小・五小・成木小) | ・基本・実施設計(9校) (小5校・中4校) ・改修工事(5校) (小3校・中2校) | | |
| | 0 | (218,502) | (512,960) | | |

| | | | | |
|------------------|---|---------------------------------|--------|------|
| 3-19 | 事業名 | 小・中学校図書室等空調整備事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 教育部 施設課 | | |
| 事業概要 | 市内小・中学校の図書室等について空調機を整備する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 順次計画的に小・中学校25校の図書室等への空調機整備を実施する。初めに図書室への空調機整備を実施する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・基本・実施設計(図書室)(小学校15校) ・改修工事(図書室)(中学校10校) | ・改修工事(図書室)(小学校15校) ・改修計画の再検討 | | |
| | 97,739 | (130,657) | (一) | |

| | | | | |
|------------------|---|--------------|----------|------|
| 3-20 | 事業名 | 調理場統合の検討 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 教育部 学校給食センター | | |
| 事業概要 | 老朽化した根ヶ布調理場および藤橋調理場の統合に向け、学校給食センター基本構想をもとに調理場を整備する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 平成26年度に策定した基本構想にもとづき、根ヶ布・藤橋両調理場の統合に向け、計画的に事業推進を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・新給食センター候補地の建設可能性についての検討 | ・整備手法の検討 | ・整備手法の検討 | |
| | 0 | (0) | (一) | |

4. 青少年活動

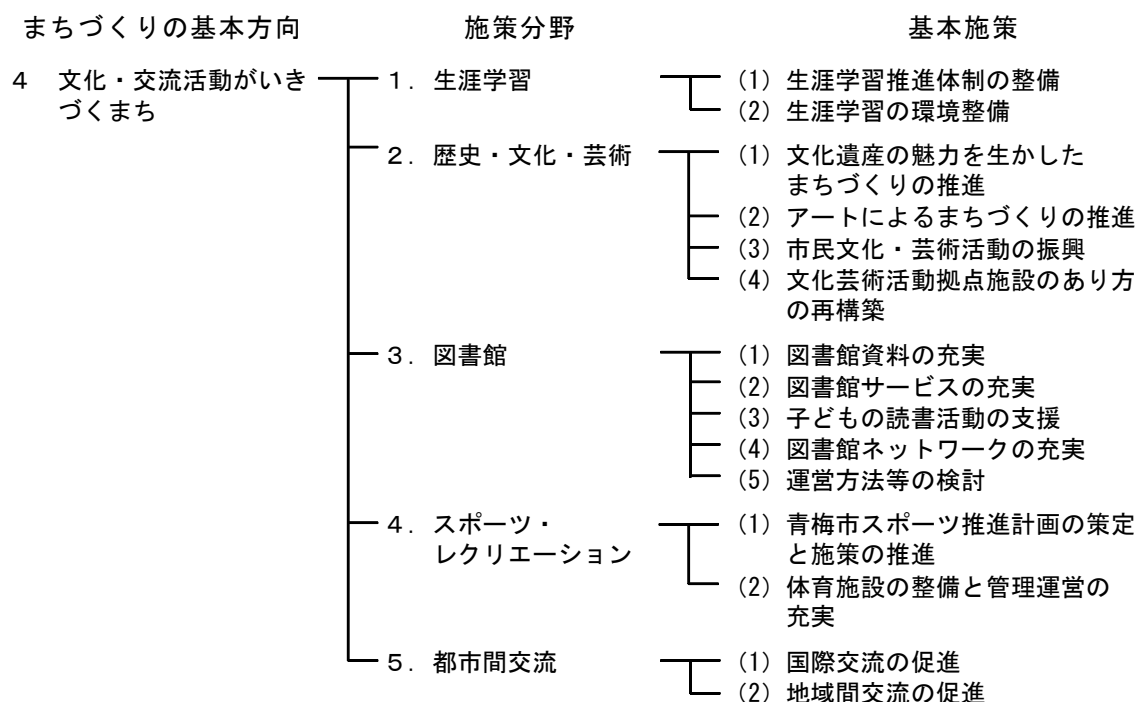
| | | | | | |
|------------------|--|--------------------------------|--------------------------------|------|---|
| 3-21 | 事業名 | 体験活動の充実 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 教育部 社会教育課 | | | |
| 事業概要 | 青少年を対象とした各種体験活動事業を実施する。 小学生と保護者を対象にした農業・食育体験教室や、親子で参加する親子文化体験講座などを開催する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 青少年を対象とした各種体験活動や講座を通して、子どもたちが多くのことを学び、成長し、子どもたちの自主性や社会性を養い、夢と希望を持ったたくましい子どもを育てることを目指す。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・体験教室の開催（農業・食育体験教室、親子文化体験教室など） | ・体験教室の開催（農業・食育体験教室、親子文化体験教室など） | ・体験教室の開催（農業・食育体験教室、親子文化体験教室など） | | |
| | 80 | (80) | (80) | | |

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|------|--|
| 3-22 | 事業名 | 若者の自立等支援事業 | | 総合戦略 | |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子ども家庭支援課 | | | |
| 事業概要 | NPO法人等への委託による家族向け相談、家庭訪問等を実施する。 市民および要支援者向け講演会を開催する。 民生委員・児童委員に対し、事業の趣旨や内容の理解と適切な対応が図れるよう、3年ごとの委員改選期の翌年度に講座を開催する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 一人ひとりの子ども・若者が、健やかに成長し、社会とのかかわりを自覚しつつ、自立した個人としての自己を確立し、他者とともに次代の社会を担うことができるようになることを目指す。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・自立等支援事業として、若年者・家族向け相談、家庭訪問、市民向け講演会の実施 | ・自立等支援事業として、若年者・家族向け相談、家庭訪問、民生委員・市民向け講演会等の実施 | ・自立等支援事業として、若年者・家族向け相談、家庭訪問、市民向け講演会の実施 | | |
| | 513 | (549) | (510) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|--|--|------|---|
| 3-23 | 事業名 | 青少年健全育成事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子ども家庭支援課 | | | |
| 事業概要 | 関係機関と連携し、非行の防止や有害環境の浄化など青少年をとりまく社会環境の整備を行う。青少年対策地区委員会を中心に「親子ふれあい綱引き大会」等の地域活動や環境浄化のための事業を実施する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 異世代・異年齢・異地区間の交流や地域コミュニティの醸成を図ることにより、青少年の健全育成を目指す。 | | | | |
| 事業計画 および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 親子ふれあい綱引き大会の実施 青少年健全育成団体の登録 青少対事業費補助 | <ul style="list-style-type: none"> 親子ふれあい綱引き大会の実施 青少年健全育成団体の登録 青少対事業費補助 | <ul style="list-style-type: none"> 親子ふれあい綱引き大会の実施 青少年健全育成団体の登録 青少対事業費補助 | | |
| | 2,681 | (2,712) | (2,710) | | |

第4章 文化・交流活動がいきづくまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

| 指 標 | 単位 | 過去 | 基本計画開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|-----------------|----|--------|----------|--------|--------|
| 生涯学習講座・教室受講者数 ○ | 人 | 1,583 | 6,787 | 6,369 | 10,000 |
| | | H14年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |
| 美術館年間入館者数 | 人 | 21,293 | 20,837 | 15,957 | 21,000 |
| | | H14年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |
| 市民一人当たりの図書貸出冊数 | 冊 | 5.2 | 7.6 | 5.8 | 9.1 |
| | | H14年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |
| スポーツ実施率 | % | 26.3 | 28.8 | 28.8 | 70以上 |
| | | H15年度 | H24年度 | H24年度 | H34年度 |

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(KPI)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

| | | | |
|------------------|-----------------------------|-----|---|
| 1. 生涯学習 | | | |
| 4-1 | 第五次青梅市生涯学習推進計画の推進 | (1) | ● |
| 2. 歴史・文化・芸術 | | | |
| 4-2 | 新市民ホール整備構想の検討 | (4) | ● |
| 4-3 | 新生涯学習施設(仮称)整備事業 【新規】 | (4) | ● |
| 3. 図書館 | | | |
| 4-4 | 図書館資料整備事業 | (1) | |
| 4-5 | 青梅市子ども読書活動推進事業 | (3) | |
| 4. スポーツ・レクリエーション | | | |
| 4-6 | 青梅市スポーツ推進計画の策定・推進 | (1) | |
| 5. 都市間交流 | | | |
| 4-7 | ホストタウンの推進 【新規】 | (1) | ● |
| 4-8 | 自治体間交流事業 | (2) | ● |

※図書館資料整備事業(4-4)および青梅市子ども読書活動推進事業(4-5)の事業費については、指定管理者への管理運営委託料に含まれるため「-」で表記

1. 生涯学習

| | | | | | |
|------------------|---|--------------------|--|------|---|
| 4-1 | 事業名 | 第五次青梅市生涯学習推進計画の推進 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 教育部 社会教育課 | | | |
| 事業概要 | 平成26年度から平成30年度までを計画期間とする第五次青梅市生涯学習推進計画に定める「ともに学んで生きるまち」の実現に向け、生涯学習の推進を図る。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 年度ごとの進捗状況調査を踏まえ、関連する諸機関、諸団体との連携を図りながら、市民が生涯を通じ、主体的に取り組める学習活動を推進する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・第五次青梅市生涯学習推進計画の推進 | ・第五次青梅市生涯学習推進計画の推進 | ・第五次青梅市生涯学習推進計画の推進 ・第六次青梅市生涯学習推進計画の策定 | | |
| | 391 | (343) | (780) | | |

2. 歴史・文化・芸術

| | | | | | |
|------------------|--|----------------|---------------------------|------|---|
| 4-2 | 事業名 | 新市民ホール整備構想の検討 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 教育部 文化課 | | | |
| 事業概要 | 新しい市民ホールを建設するにあたり、既存の文化施設の機能の他、様々な機能を併せ持つ複合施設について検討する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 新たな文化芸術活動の拠点施設となり、文化芸術施設全体のあり方を再構築することにより、歴史・文化・芸術に触れる機会を増やし、人々の交流の活性化を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・新市民ホール整備構想の検討 | ・新市民ホール整備構想の検討 | ・日本ケミコン跡地にかかる利活用構想にもとづく検討 | | |
| | 0 | (0) | (－) | | |

【新規】

| | | | | | |
|------------------|--|--|--|------|---|
| 4-3 | 事業名 | 新生涯学習施設(仮称)整備事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 教育部 文化課 | | | |
| 事業概要 | 老朽化対応および公共施設再編の観点から、青梅市民会館、青梅市民センター、釜の淵市民館、永山ふれあいセンターを集約し、青梅市民会館跡地に「新生涯学習施設(仮称)」を整備する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 新生涯学習施設(仮称)を整備することにより、各施設に分散していた機能を統合するとともに、新施設の活用により青梅地区を中心とした人々の交流の活性化を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 基本構想、基本設計 各種調査 | <ul style="list-style-type: none"> 実施設計・環境調査等 解体工事・敷地調査 費用便益分析業務(B/C) 防災行政無線撤去 | <ul style="list-style-type: none"> 整備工事 整備工事監理委託 | | |
| | 30,190 | (616,171) | (一) | | |

3. 図書館

| | | | | | |
|------------------|--|---|---|------|--|
| 4-4 | 事業名 | 図書館資料整備事業 | | 総合戦略 | |
| | 担当課 | 教育部 中央図書館管理課 | | | |
| 事業概要 | 青梅市図書館資料収集基準にもとづき、市民のニーズに沿った図書(中央図書館および分館図書館)および視聴覚資料(中央図書館)を各分野にわたり入門書から専門書まで幅広く収集し、資料の充実を図る。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 図書および視聴覚資料の整備を推進し、市民が必要とする様々な資料や情報を提供することにより、情報交流拠点施設としての機能充実を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 図書の購入 視聴覚資料の購入 | <ul style="list-style-type: none"> 図書の購入 視聴覚資料の購入 | <ul style="list-style-type: none"> 図書の購入 視聴覚資料の購入 | | |
| | — | (一) | (一) | | |

| | | | |
|------------------|--|--|--|
| 4-5 | 事業名 | 青梅市子ども読書活動推進事業 | 総合戦略 |
| | 担当課 | 教育部 中央図書館管理課 | |
| 事業概要 | 第三次青梅市子ども読書活動推進計画にもとづき、図書館相互協力の強化および図書館と学校との連携強化を図り、読書環境の整備、おはなし会等の充実や読書活動を支える人たちの人材育成などを実施する。 | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 家庭、学校および地域などが協力し、子どもの読書活動を推進する。 | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | ・子ども読書活動推進事業、学校連携モデル校事業の実施 ・ブックリストの作成 | ・子ども読書活動推進事業、学校連携モデル校事業の実施 ・ブックリストの作成 | ・子ども読書活動推進事業、学校連携モデル校事業の実施 ・ブックリストの作成 |
| | — | (—) | (—) |

4. スポーツ・レクリエーション

| | | | |
|------------------|---|---------------------------------------|------------------|
| 4-6 | 事業名 | 青梅市スポーツ推進計画の策定・推進 | 総合戦略 |
| | 担当課 | 市民部 スポーツ推進課 | |
| 事業概要 | 青梅市スポーツ推進計画(平成26年度から平成35年度)における各施策を推進するための事業を展開する。また、進捗状況を随時把握し、事業内容を改善しながら目標達成を図る。 | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 青梅市スポーツ推進計画にもとづき、スポーツを通じて、健康づくりや体力の向上および人々の交流の機会を提供し、市民の健康維持・増進に努め、幸福で豊かな生活を営むことができる環境づくりを推進する。 | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | ・青梅市スポーツ推進計画の推進 ・新たな地域スポーツクラブの設立検討 | ・青梅市スポーツ推進計画の推進 ・新たな地域スポーツクラブの設立検討 | ・青梅市スポーツ推進計画の見直し |
| | 314 | (314) | (310) |

5. 都市間交流

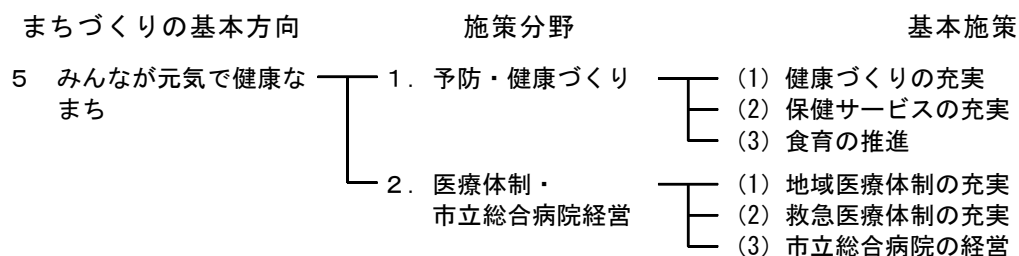
【新規】

| | | | | | |
|------------------|---|---------------------|---------------------|------|---|
| 4-7 | 事業名 | ホストタウンの推進 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 企画部 企画政策課 | | | |
| 事業概要 | 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、国が推進する「ホストタウン」にドイツ連邦共和国を相手国として登録されたことから、姉妹都市であるボッパルト市との関係を基軸として、スポーツに限らず文化・教育等幅広い分野におけるドイツとの交流を促進する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 「ホストタウン」のしくみを活用し、2020年大会に向けた気運醸成を図ることにより、様々な分野におけるドイツ連邦共和国およびボッパルト市との交流を深める。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・「ホストタウン」登録 ・青梅ドイツウィークの開催 | ・文化交流、体験交流などによる気運醸成 | ・文化交流、体験交流などによる気運醸成 | | |
| | 2,360 | (9,000) | (9,000) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|---|---|------|---|
| 4-8 | 事業名 | 自治体間交流事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 企画部 企画政策課 | | | |
| 事業概要 | 杉並区や南相馬市等他自治体との交流を深めるため、自治体における様々なイベントへ相互に参加するとともに、自治体と関係する様々な団体との交流や、住民レベルの交流を図る。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 青梅市の魅力を積極的に発信し、他自治体との交流人口の拡大を図ることにより、地域の活性化を目指す。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・各種事業による交流 ・青梅・南相馬スクラム支援事業「夏休み青梅子ども体験塾」の実施 | ・各種事業による交流 ・青梅・南相馬スクラム支援事業「夏休み青梅子ども体験塾」の実施 | ・各種事業による交流 ・青梅・南相馬スクラム支援事業「夏休み青梅子ども体験塾」の実施 | | |
| | 2,044 | (2,204) | (2,200) | | |

第5章 みんなが元気で健康なまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

| 指 標 | 単位 | 過去 | 基本計画開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|---------------------------------|----|-------|----------|-------|-------|
| 特定健康診査の受診率 | % | 42.5 | 48.5 | 50.8 | 60.0 |
| | | H20年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |
| 慢性腎不全(CKD)重症化予防の取組による新規人工透析の患者数 | 人 | 15 | 20 | 16 | 10 |
| | | H20年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |
| 乳幼児健康診査の受診率 | % | 95 | 97 | 95 | 100 |
| | | H22年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |
| 「食育」へ関心を持っている市民の割合 | % | - | 69.4 | 71.2 | 80以上 |
| | | - | H20年度 | H25年度 | H34年度 |
| 「かかりつけ医」がいる市民の割合 | % | - | 53.6 | 65.8 | 70 |
| | | - | H20年度 | H25年度 | H34年度 |

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

| | | | |
|------------------|--------------|-----|--|
| 1. 予防・健康づくり | | | |
| 5-1 | 青梅市健康増進計画の推進 | (1) | |
| 5-2 | 生活習慣病の重症化予防 | (2) | |
| 5-3 | 青梅市食育推進計画の推進 | (3) | |
| 2. 医療体制・市立総合病院経営 | | | |
| 5-4 | 地域医療機関連携推進事業 | (1) | |
| 5-5 | 医療器械整備推進事業 | (3) | |
| 5-6 | 新病院建設事業 | (3) | |

1. 予防・健康づくり

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 5-1 | 事業名 | 青梅市健康増進計画の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 健康課 | | |
| 事業概要 | 「青梅市健康増進計画」にもとづき、市民・事業者・行政機関等が連携した健康づくりの取組を支援する。また、「青梅市健康増進計画推進会議」において、高血圧、糖尿病など生活習慣病の予防、慢性腎臓病の重症化予防および健(検)診受診率の向上などの取組状況や数値目標にもとづいた成果の把握を行い、計画の進行管理および推進を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚のもとに健康づくりの実践に向けて、市民・事業者・行政機関等が連携した健康づくりの取組を実施することにより、市民の生活習慣病予防ならびに健康寿命の延伸を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 青梅市健康増進計画の推進 推進会議の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 青梅市健康増進計画の推進 推進会議の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 青梅市健康増進計画の推進 推進会議の開催 | |
| | 200 | (212) | (220) | |

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 5-2 | 事業名 | 生活習慣病の重症化予防 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 健康課 | | |
| 事業概要 | 特定健診等の受診の推進および健診結果を活用し、生活習慣病の重症化予防対策として、青梅市医師会、青梅市薬剤師会および市で連携を図り慢性腎臓病(CKD)の重症化予防対策を契機に、糖尿病予備群等重症化予防対策などを実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 生活習慣病の重症化予防のための各種健診事業を推進し、市民の生活の質(QOL)の向上を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 対象者へ啓発 医師による講演会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 対象者へ啓発 医師による講演会の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 対象者へ啓発 医師による講演会の開催 | |
| | 381 | (130) | (130) | |

| | | | | |
|------------------|--|---|---|------|
| 5-3 | 事業名 | 青梅市食育推進計画の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 健康課 | | |
| 事業概要 | 食育講演会の実施や子どもと保護者がともに「食」を学べる「親子クッキング」を開催するなど、食育意識の普及・啓発活動に取り組むとともに、「第2次青梅市食育推進計画」にもとづいた各種事業や取組の進行管理、成果の把握を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 食の安全性や食の流通経路、食文化の知識を習得することにより、市民一人ひとりが生活習慣病の予防を図るとともに、食を大切にする心や生命の尊さを重んじる心を養う。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 食育推進会議の開催(年2回) 食育関連事業の開催 | <ul style="list-style-type: none"> 食育推進会議の開催(年2回) 食育関連事業の開催 中間評価のための調査 | <ul style="list-style-type: none"> 食育推進会議の開催(年2回) 食育関連事業の開催 | |
| | 467 | (497) | (500) | |

2. 医療体制・市立総合病院経営

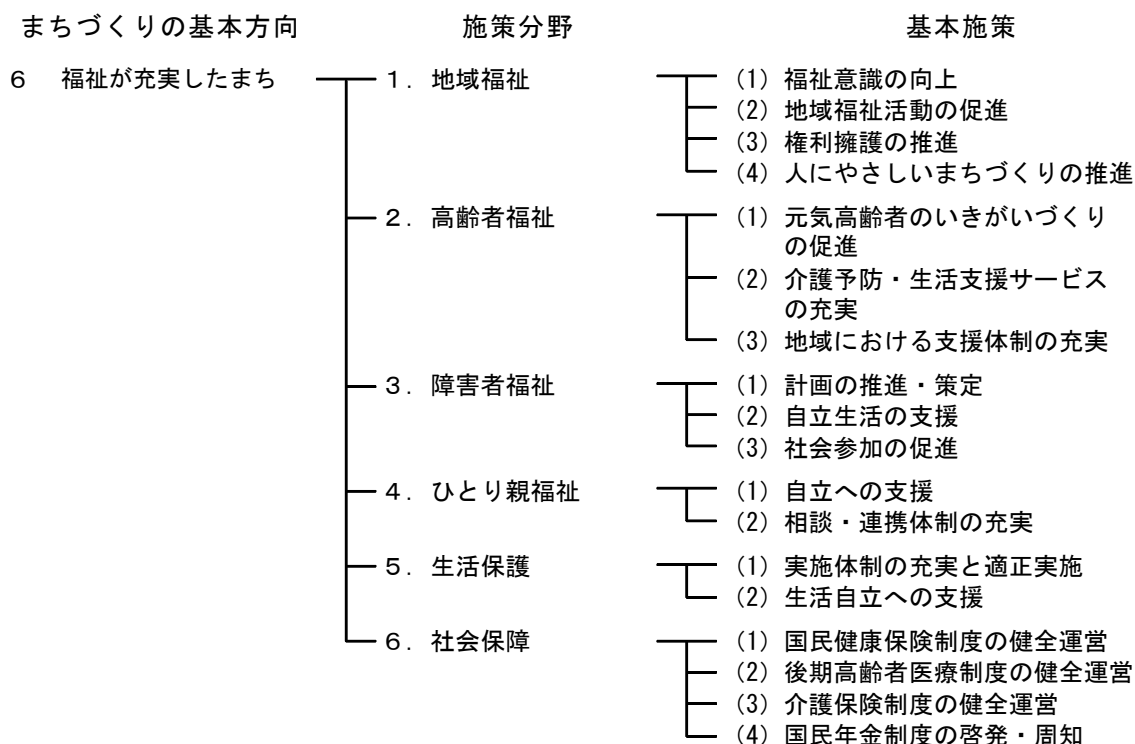
| | | | | |
|------------------|--|---|--|------|
| 5-4 | 事業名 | 地域医療機関連携推進事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 総合病院 経営企画課・総合病院 医事課・総合病院 管理課 | | |
| 事業概要 | 西多摩地域における高度な急性期医療を提供するとともに、地域の医療機関との連携および患者の症状に応じた診療を更に推進し、地域における医療の確保を目的とした地域医療支援病院の役割を担うため、その承認を目指す。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 地域医療支援病院の承認を受けることを目標とし、退院や転院調整の充実を図り、地域の医療機関と協力して、患者の症状に応じた切れ目のない診療に取り組むことにより、患者サービスの向上を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 地域の医師等医療従事者向け研修会や地域医療連携懇話会の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の医師等医療従事者向け研修会や地域医療連携懇話会の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の医師等医療従事者向け研修会や地域医療連携懇話会の実施 地域医療支援病院の承認 | |
| | 1,106 | (1,323) | (1,100) | |

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 5-5 | 事業名 | 医療器械整備推進事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 総合病院 管理課 | | |
| 事業概要 | CT装置、PET・RI装置、MRI、心臓血管撮影装置等の高額医療器械について、計画的に更新を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 心臓血管撮影装置、CT装置など医療器械について、計画的な更新を実施することにより、機器の安定的運用と先進的な診療体制の確保を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・移動型X線透視診断装置の更新 ・手術用顕微鏡の更新 | <ul style="list-style-type: none"> ・磁気共鳴画像撮影装置(MRI)の更新 | <ul style="list-style-type: none"> ・脳神経血管撮影装置の更新 | |
| | 113,400 | (279,445) | (233,620) | |

| | | | | |
|------------------|---|---|--|------|
| 5-6 | 事業名 | 新病院建設事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 総合病院 経営企画課 | | |
| 事業概要 | 新病院の将来像を示す基本構想を策定し、新病院の建設着手に向けた検討を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 災害に強く、地域が必要とする診療機能を備えた新病院を建設し、将来にわたり西多摩地域の基幹病院として、質の高い医療を行うとともに、療養環境の充実を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・建替検討委員会の開催 ・基本計画の策定 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計への取組 | <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画に沿った取組の推進 | |
| | 16,758 | (133,602) | (一) | |

第6章 福祉が充実したまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

| 指 標 | 単位 | 過去 | 基本計画 開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|---------------------|----|----------|--------------|----------|----------|
| 自分が健康だと自覚している高齢者の割合 | % | — | 80.2 | 79.6 | 増加 |
| | | — | H22 年度 | H25 年度 | H34 年度 |
| 要介護(要支援)認定者の出現率※ | % | 11.9 | 14.5 | 14.7 | 19.6 |
| | | H15.3.31 | H25.3.31 | H28.3.31 | H37.9.30 |
| 認知症サポーター数 | 人 | 292 | 1,490 | 3,206 | 10,000 |
| | | H20.3.31 | H25.3.31 | H28.3.31 | H35.3.31 |

※出現率＝要介護(要支援)認定者数÷介護保険第1号被保険者(65歳以上)数

※要介護(要支援)認定者の出現率の到達目標は、「第6期青梅市高齢者保健福祉計画・青梅市介護保険事業計画」の推計値です。

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

| | | | |
|-----------|--------------------|-----------------|---|
| 1. 地域福祉 | | | |
| 6-1 | 民生委員・児童委員の適正配置 | (2) | |
| 6-2 | 成年後見制度等の周知および利用促進 | (3) | |
| 2. 高齢者福祉 | | | |
| 6-3 | 介護予防事業(すこやか高齢者事業) | (2) | |
| 6-4 | 介護予防・日常生活支援総合事業 | 【新規】 (2) | |
| 6-5 | 高齢者等見守り支援ネットワークの構築 | (3) | |
| 6-6 | 認知症サポーター養成研修事業 | (3) | |
| 3. 障害者福祉 | | | |
| 6-7 | 障害者計画、障害福祉計画の策定・推進 | (1) | |
| 6-8 | 青梅市障がい者サポートセンター事業 | (2) | |
| 6-9 | 視聴覚サービス等支援事業 | (2) | |
| 6-10 | 青梅市障害者就労支援センター事業 | (3) | |
| 4. ひとり親福祉 | | | |
| 6-11 | ひとり親家庭自立支援事業 | (1) | ● |
| 5. 生活保護 | | | |
| 6. 社会保障 | | | |

1. 地域福祉

| | | | | |
|------------------|--|---|--|------|
| 6-1 | 事業名 | 民生委員・児童委員の適正配置 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 福祉総務課 | | |
| 事業概要 | 高齢者(特に単身世帯)等の地域の要支援者数等を考慮しつつ、区域担当の民生委員・児童委員が住民の生活状況を適切に把握し、円滑に活動できるように、3年に一度の一斉改選の時期に委員の定数の見直しを行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 地域の実情に合わせ民生委員・児童委員の定数および地区協議会の区割りを見直すことにより、地域福祉の重要な担い手である民生委員・児童委員の活動の充実を図り、地域福祉の増進に資する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 委員の改選(3人増員) 地域福祉活動の推進 各種相談業務 関係機関との調整 協議会の運営 | <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉活動の推進 各種相談業務 関係機関との調整 協議会の運営 | <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉活動の推進 各種相談業務 関係機関との調整 協議会の運営 定数見直し作業 | |
| | 39,144 | (39,300) | (37,980) | |

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 6-2 | 事業名 | 成年後見制度等の周知および利用促進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 福祉総務課 | | |
| 事業概要 | 成年後見活用あんしん生活創造事業を実施するとともに、青梅市社会福祉協議会と連携し、成年後見制度の周知を図り、利用を促進する。 市長申し立てによる成年後見制度の申請に伴う費用の助成等を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 認知症高齢者など判断能力が十分でない方の人権や財産を守る成年後見制度等の周知と利用促進を図ることにより、全ての市民が住み慣れた地域の中で、安心して生き生きと暮らし続けられるようにする。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 成年後見活用あんしん生活創造事業の推進 社会貢献型後見人等の導入の検討 法人後見の開始 | <ul style="list-style-type: none"> 成年後見活用あんしん生活創造事業の推進 社会貢献型後見人等の導入の検討 法人後見の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 成年後見活用あんしん生活創造事業の推進 社会貢献型後見人等の導入の検討 法人後見の実施 | |
| | 15,959 | (16,839) | (16,830) | |

2. 高齢者福祉

| | | | | |
|------------------|---|-------------------|--------|------|
| 6-3 | 事業名 | 介護予防事業(すこやか高齢者事業) | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 高齢介護課 | | |
| 事業概要 | 高齢者の介護予防にかかる啓発と介護予防事業への参加者を増やすため、その対象者を把握し拡大を図り、介護予防事業への参加を促す。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 介護予防事業を実施し、日々の生活における運動、栄養、口腔ケア等の継続を図り、介護予防への意識を高め、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援し、要介護認定者の増加を予防する。 なお、介護保険制度の改正により、平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業へ移行する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・すこやか高齢者事業対象者の抽出 ・介護予防事業の実施 | | | |
| | 14,665 | | | |

【新規】

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 6-4 | 事業名 | 介護予防・日常生活支援総合事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 高齢介護課 | | |
| 事業概要 | 要支援1・2または基本チェックリスト該当者のうち体力が落ちている等の方に対して、介護予防ケアマネジメントを実施し、必要なサービス利用につなげることで重度化防止等の介護予防を図る。また、住民主体の介護予防活動や支え合い活動の充実を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 要支援者等の多様な生活支援のニーズに対応するため、多様なサービスを提供し在宅生活の安心確保を図るとともに、健康づくり事業や地域の互助を踏まえ、住民主体の通いの場づくり、また、高齢者の社会参加の促進と効果的な介護予防事業の充実などにより、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが実現できる状態を目指す。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・情報収集 ・制度設計 ・市民、事業者への周知 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業の実施 | |
| | 0 | (157,308) | (－) | |

| | | | | |
|------------------|---|------------------------------------|------------------------------------|------|
| 6-5 | 事業名 | 高齢者等見守り支援ネットワークの構築 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 高齢介護課 | | |
| 事業概要 | 公的機関、民間事業所、民生委員、自治会等関係機関の連携を図り、各組織等が把握する情報を共有し、地域全体で高齢者等を見守るネットワークを構築し、定期的な情報交換や、ケース検討を実施していく。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 高齢者等見守り支援ネットワークを構築し、地域を中心とした高齢者等見守り体制を浸透させ、高齢者等が安心して住み慣れたところで生活できる地域を醸成することで、社会保障に頼らない社会を築き上げる。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・協力事業者の拡充 ・高齢者等見守り支援ネットワーク会議の開催 | ・協力事業者の拡充 ・高齢者等見守り支援ネットワーク会議の開催 | ・協力事業者の拡充 ・高齢者等見守り支援ネットワーク会議の開催 | |
| | 7 | (8) | (0) | |

| | | | | |
|------------------|--|-------------------------------|-------------------------------|------|
| 6-6 | 事業名 | 認知症サポーター養成研修事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 高齢介護課 | | |
| 事業概要 | 認知症に関する正しい知識と理解を身に付けた「認知症サポーター」を養成するための「認知症サポーター養成研修」を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーターを養成することにより、認知症の人やその家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを目指す。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・認知症サポーター養成研修の実施 ・関係機関との連携 | ・認知症サポーター養成研修の実施 ・関係機関との連携 | ・認知症サポーター養成研修の実施 ・関係機関との連携 | |
| | 66 | (66) | (110) | |

3. 障害者福祉

| | | | | |
|------------------|---|----------------------------------|---|------|
| 6-7 | 事業名 | 障害者計画、障害福祉計画の策定・推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 障がい者福祉課 | | |
| 事業概要 | 障害者基本法にもとづく「障害者計画」および障害者総合支援法にもとづく「障害福祉計画」を策定し、計画の推進を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 障害者施策における課題に、地域全体で取り組み、すべての障害者が、人としての尊厳を持って、安心して自立した生活を送るための仕組みづくりを目指す。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・障害者計画および障害福祉計画の推進 | ・障害者計画および障害福祉計画の推進 ・障害福祉計画の策定 | ・障害者計画および障害福祉計画の推進 ・障害者計画策定に向けたアンケート等の実施 | |
| | 0 | (387) | (610) | |

| | | | |
|------------------|--|-------------------|------------------|
| 6-8 | 事業名 | 青梅市障がい者サポートセンター事業 | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 障がい者福祉課 | |
| 事業概要 | 市内の障害者および障害児の地域社会との交流による社会参加、自立の支援や障害者団体の活動の場の確保を図るため、相談支援事業、地域活動支援センター事業、生活支援事業、虐待防止事業、放課後対策事業等を実施する。 | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 相談支援事業や軽作業等の機会等を提供することにより、地域社会との交流を促進して障害者および障害児の社会参加と自立を支援するとともに、障害者の福祉の増進を図る。 | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 |
| | ・障害者を支援する各種事業の実施 | ・障害者を支援する各種事業の実施 | ・障害者を支援する各種事業の実施 |
| | 52,642 | (52,746) | (52,640) |

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 6-9 | 事業名 | 視聴覚サービス等支援事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 障がい者福祉課 | | |
| 事業概要 | 音声コードの市刊行物等への使用や市民への周知を図るとともに、職員研修等を実施し音声コードへの理解を深める。 手話講習会を実施し、手話の普及や理解を深める。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 職員研修等による音声コードの普及や手話を窓口業務等に活用することにより、視聴覚障害者に対する情報のバリアフリー化を促進し、市民サービスの向上やコミュニケーション支援の充実を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 音声コードの普及啓発 職員研修の実施 手話講習会の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 音声コードの普及啓発 職員研修の実施 手話講習会の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 音声コードの普及啓発 職員研修の実施 手話講習会の実施 | |
| | 669 | (165) | (660) | |

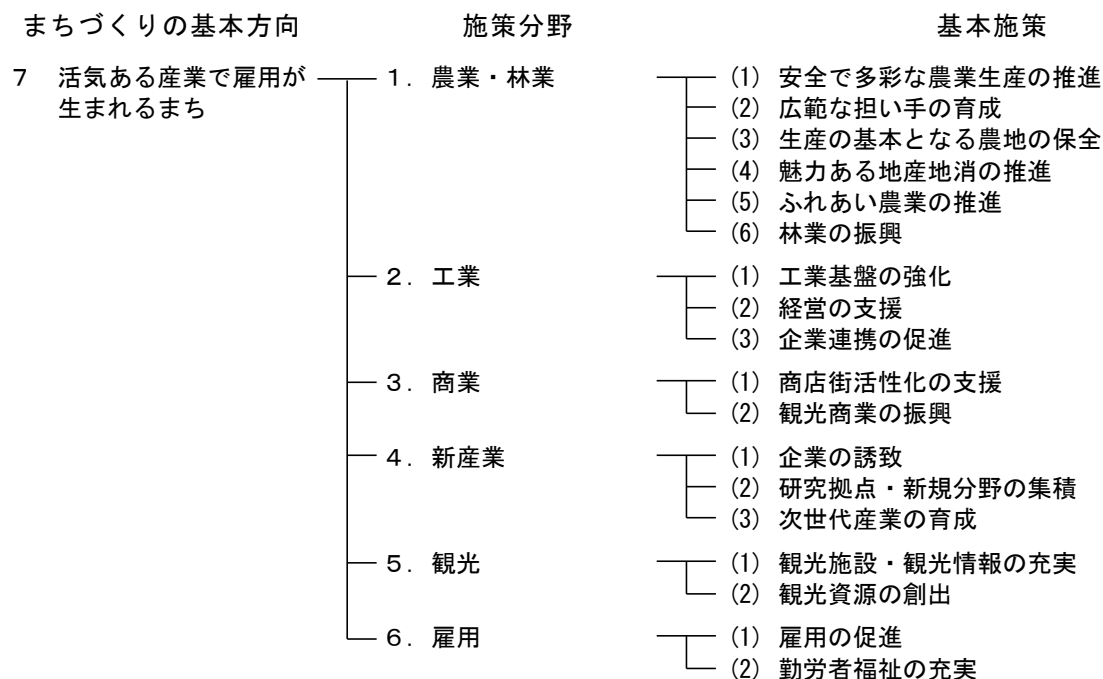
| | | | | |
|------------------|--|--|--|------|
| 6-10 | 事業名 | 青梅市障害者就労支援センター事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 健康福祉部 障がい者福祉課 | | |
| 事業概要 | 職業相談、就職準備相談、職場開拓、職場実習、職場定着などの就労面の支援や日常生活、職業生活、社会生活などの生活面の支援を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 各種支援事業を実施することにより、障害者等に対し、身近な地域での就労の促進や生活の質の向上を図り、障害者の自立と社会参加の促進を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 就労面の支援の実施 生活面の支援の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 就労面の支援の実施 生活面の支援の実施 | <ul style="list-style-type: none"> 就労面の支援の実施 生活面の支援の実施 | |
| | 26,744 | (27,070) | (26,740) | |

4. ひとり親福祉

| | | | | |
|------------------|--|---|---|---|
| 6-11 | 事業名 | ひとり親家庭自立支援事業 | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 子ども家庭部 子ども家庭支援課 | | |
| 事業概要 | ひとり親家庭の自立に向け、相談・支援を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 子育て、教育、就労などを支援するための相談体制および関係機関との連携による就労支援体制などの充実を図ることにより、ひとり親家庭の生活の安定や自立を促進する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・母子・父子自立支援員等による相談・支援の実施 ・高等職業訓練促進給付金等の支給 | ・母子・父子自立支援員等による相談・支援の実施 ・高等職業訓練促進給付金等の支給 | ・母子・父子自立支援員等による相談・支援の実施 ・高等職業訓練促進給付金等の支給 | |
| | 13,700 | (14,870) | (14,870) | |

第7章 活気ある産業で雇用が生まれるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

| 指 標 | 単位 | 過去 | 基本計画 開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|-------------|---------|--------|--------------|--------|--------|
| 年間観光入込み客数 | 人 | 212万 | 195万 | 195万 | 212万 |
| | | H13年度 | H24年度 | H24年度 | H34年度 |
| 事業所数・従業員数 ○ | カ所 人 | 5,200 | 5,051 | 4,600 | 5,024 |
| | | 56,280 | 55,925 | 52,370 | 55,629 |
| | | H13 | H21 | H24 | H34 |

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(KPI)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

| | | | |
|----------|--------------------------|---------|---|
| 1. 農業・林業 | | | |
| 7-1 | 青梅市農業振興計画の策定・推進 | (1) | ● |
| 7-2 | 梅の里再生事業 | (1) | ● |
| 7-3 | 強化対策地区における緊急防除対策事業 | 【新規】(1) | ● |
| 7-4 | 都市農業活性化支援事業 | (2) | |
| 7-5 | 農業経営改善計画等の推進 | (2) | |
| 7-6 | 6次産業化支援事業 | (4) | ● |
| 7-7 | 林業振興事業 | (6) | ● |
| 2. 工業 | | | |
| 7-8 | おうめものづくり支援事業 | (1) | ● |
| 3. 商業 | | | |
| 7-9 | 商・工業振興プランの策定・推進 | (1) | ● |
| 7-10 | 商店街空き店舗活用事業 | (1) | ● |
| 7-11 | 商店街活性化イベント事業の推進 | (2) | ● |
| 7-12 | 販路拡大支援事業 | (2) | ● |
| 4. 新産業 | | | |
| 7-13 | 企業誘致の推進 | (1) | ● |
| 5. 観光 | | | |
| 7-14 | 観光ボランティア養成事業 | (1) | ● |
| 7-15 | おうめ！観光戦略創造プロジェクト | 【新規】(1) | ● |
| 7-16 | 「道の駅」整備の検討 | (1) | ● |
| 7-17 | 梅の里再生事業 | (2) | ● |
| 7-18 | フィルムコミッション(ロケーションサービス)事業 | (2) | ● |
| 6. 雇用 | | | |
| 7-19 | 就職面接会の開催 | (1) | ● |
| 7-20 | 女性・若者就職アシスト事業 | (1) | ● |
| 7-21 | 労働相談の実施 | (2) | |

1. 農業・林業

| | | | | | |
|------------------|--|---|---|------|---|
| 7-1 | 事業名 | 青梅市農業振興計画の策定・推進 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 農林課 | | | |
| 事業概要 | 10年毎に策定する市の農業施策の根幹となる「青梅市農業振興計画」について、現行計画策定後に生じた新たな課題の整理を行うとともに、農業関連法改正に対応した農業振興の方針を示す。平成26年度に計画策定懇談会を設置し検討、協議を行い、平成27年度に策定する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 平成28年度以降の本計画の推進により、農業者、農業団体、市民、行政等がそれぞれの役割を果たし、市内における更なる農業振興を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興計画にもとづく事業の推進 ・計画周知宣伝 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興計画にもとづく事業の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興計画にもとづく事業の推進 | | |
| | 310 | (111) | (0) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|--|---|------|---|
| 7-2 | 事業名 | 梅の里再生事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 公園緑地課・まちづくり経済部 商工観光課 まちづくり経済部 農林課・まちづくり経済部 梅の里再生担当 | | | |
| 事業概要 | 「青梅市梅の里再生計画」にもとづき、再生・復興を達成するまでの期間をおおむね8年間とし、平成25年度を初年度とする前期3年間に「緊急対策プログラム」を、後期5年間に「再生・復興プログラム」を実施する。各施策を行うにあたり「青梅市梅の里再生計画推進委員会」等を開催し、協議・検証を行う。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 梅の里を早期に再生し、吉野梅郷を中心とする地区の魅力を向上させ、観梅客の増加を図るとともに地域経済の活性化を促進する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・新たな梅まつりの実施 ・梅の公園等の整備充実 ・梅苗木育成・管理等 ・援農ボランティア講座 | <ul style="list-style-type: none"> ・梅まつりの実施 ・梅の公園等の整備充実 ・梅苗木育成・管理等 ・援農ボランティア講座 | <ul style="list-style-type: none"> ・梅まつりの実施 ・梅の公園等の整備充実 ・梅苗木育成・管理 ・援農ボランティア講座 | | |
| | 72,302 | (65,816) | (79,950) | | |

【新規】

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|------|---|
| 7-3 | 事業名 | 強化対策地区における緊急防除対策事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 梅の里再生担当 | | | |
| 事業概要 | 平成21年に国内で初めてウメ輪紋ウイルスが市内から発見されて以来、感染調査、伐採等の緊急防除対策が実施されている。 平成27年度から植物防疫法にもとづく協力指示書により強化対策地区を設定し、ウイルスの根絶に向けた各種対策を実施する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 強化対策地区におけるウメ輪紋ウイルス根絶に向けた、感染状況調査、アブラムシ防除作業、その他強化対策に必要な事業を講じることにより、再植栽を目指す。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・感染状況調査 ・アブラムシ防除作業 ・感染樹の即時伐採 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染状況調査 ・アブラムシ防除作業 ・感染樹の即時伐採 | <ul style="list-style-type: none"> ・感染状況調査 ・アブラムシ防除作業 ・感染樹の即時伐採 | | |
| | 54,433 | (56,928) | (56,920) | | |

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|------|--|
| 7-4 | 事業名 | 都市農業活性化支援事業 | | 総合戦略 | |
| | 担当課 | まちづくり経済部 農林課 | | | |
| 事業概要 | 生産施設や流通・販売施設などの整備を行い経営力と生産力の向上を目指す意欲ある農業者集団等に対し、都と連携し、補助交付金等を通じて支援する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 農業施設整備への支援により、生産力や収益の向上を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・支援対象事業の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業者集団等の生産力や収益の向上の支援 ・支援対象事業の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業者集団等の生産力や収益の向上の支援 ・支援対象事業の検討 | | |
| | 0 | (8,570) | (3,750) | | |

| | | | | |
|------------------|---|--------------|--------------|------|
| 7-5 | 事業名 | 農業経営改善計画等の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | まちづくり経済部 農林課 | | |
| 事業概要 | 市内認定農業者等が作成した農業経営改善計画および青年等就農計画にもとづき、機械導入や施設設営等の事業を行うことに対して支援する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 農業経営改善計画および青年等就農計画に掲げた目標を達成させ、所得や作業環境を向上させるとともに、資源循環型農業の促進の規模拡大を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・市内認定農業者への支援 | ・市内認定農業者への支援 | ・市内認定農業者への支援 | |
| | 1,000 | (1,000) | (1,500) | |

| | | | | | |
|------------------|---|---|---|------|---|
| 7-6 | 事業名 | 6次産業化支援事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 農林課 | | | |
| 事業概要 | 市内農産物直売所等で行われる農商工産業連携を促進する事業に対し支援することで、6次産業化のステップとして、農業の活性化を図る。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 農林業者と異業種との新たな連携や農林業経営の6次産業化への契機を促し、市内農林業を中心とする産業全体の活性化と農林産物の販売拡大等を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・6次産業化の支援 ・地産地消の推進 ・商品開発・販路拡大の支援方法に対する新たな枠組みの推進 | ・6次産業化の支援 ・地産地消の推進 ・商品開発・販路拡大の支援方法に対する新たな枠組みの推進 | ・6次産業化の支援 ・地産地消の推進 ・支援方法に対する新たな枠組みの検討 | | |
| | 1,000 | (1,000) | (1,000) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|--------------|------------|------|---|
| 7-7 | 事業名 | 林業振興事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 農林課 | | | |
| 事業概要 | 国産材の価格低下や需要減少、さらには従事者の高齢化や後継者不足などの厳しい状況を克服するため、基金の有効活用や国・都の制度利用による林業振興事業を促進する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 環境の維持・向上にも配慮しながら、可能な林業振興施策の事業化を実現し、産業としての林業振興、森林の整備を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・林業振興事業の検討 | ・林業振興事業の検討 | ・林業振興事業の実施 | | |
| | 0 | (0) | (36,000) | | |

2. 工業

| | | | | | |
|------------------|---|-----------------------------------|-----------------------------------|------|---|
| 7-8 | 事業名 | おうめものづくり支援事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | 中小企業等に対する新分野進出支援、特許・ISO取得支援、人材育成支援、地域ネットワークづくり支援、創業支援、工業地域等進出企業等支援、青梅ブランド支援、資格取得支援、多摩産材活用支援、新規雇用者育成支援を実施する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 中小企業等の自立発展の基盤強化を支援することにより、産業の更なる活性化を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・中小企業に対する各種支援の実施 ・支援企業に対する効果測定 | ・中小企業に対する各種支援の実施 ・支援企業に対する効果測定 | ・中小企業に対する各種支援の実施 ・支援企業に対する効果測定 | | |
| | 22,483 | (21,483) | (22,480) | | |

3. 商業

| | | | | | |
|------------------|--|-----------------|--------------------|------|---|
| 7-9 | 事業名 | 商・工業振興プランの策定・推進 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | 商工業にかかわる社会環境や経済状況の変化に柔軟かつ的確に対応し、これからの商工業の振興に関する施策を計画的に推進していくため「青梅市商・工業振興プラン」を策定する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 青梅市商・工業振興プランを策定し、プランに沿った事業を展開するとともに、市内商工業の振興を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・計画の策定 | ・計画の推進 | ・計画の推進 ・実施計画の検証 | | |
| | 9,699 | (0) | (0) | | |

| | | | | | |
|------------------|---|----------------|-------------|------|---|
| 7-10 | 事業名 | 商店街空き店舗活用事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | 商店街等が行う空き店舗活用事業に対しての家賃補助等を実施する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 空き店舗を有効活用し、商店街の魅力を向上させるとともに地域経済の活性化を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・家賃助成補助等の実施 | ・家賃助成補助等の実施 | ・家賃助成補助等の実施 | | |
| | 9,400 | (7,332) | (6,800) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|-----------------|-------------|------|---|
| 7-11 | 事業名 | 商店街活性化イベント事業の推進 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | 商店街の魅力向上と活性化を目的として、青梅宿アートフェスティバル等商店街が自主的に行うイベント事業、関係団体・地域コミュニティとの連携や地域ニーズに対応したまちづくりの促進を図り、商店街の活性化を推進する取り組みを支援する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 商店街への来客数を増やし、賑わいを取り戻すことにより、商店街の魅力向上と活性化を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・イベント事業等の支援 | ・イベント事業等の支援 | ・イベント事業等の支援 | | |
| | 19,509 | (17,461) | (19,500) | | |

| | | | | | |
|------------------|---|-------------------------|-------------------------|------|---|
| 7-12 | 事業名 | 販路拡大支援事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | 青梅市の特産品を購入することができるインターネットサイトの開設を支援し、販路拡大、域内外への周知を図る。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 特産物や土産品をインターネットサイトで紹介および販売し、市内事業者の販路拡大を通じて、地域経済の活性化を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・特産品の選定支援 ・販路拡大状況の把握 | ・特産品の選定支援 ・販路拡大状況の把握 | ・特産品の選定支援 ・販路拡大状況の把握 | | |
| | 0 | (0) | (0) | | |

4. 新産業

| | | | | | |
|------------------|--|-------------------------------------|-------------------------------------|------|---|
| 7-13 | 事業名 | 企業誘致の推進 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | 「青梅市企業誘致条例」にもとづく奨励措置による市内への企業誘致を推進する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 企業誘致により、市内における産業の振興および雇用機会の拡大、税源のかん養を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・企業誘致条例の周知による企業誘致の推進 ・企業誘致奨励金の交付 | ・企業誘致条例の周知による企業誘致の推進 ・企業誘致奨励金の交付 | ・企業誘致条例の周知による企業誘致の推進 ・企業誘致奨励金の交付 | | |
| | 127,926 | (119,999) | (111,350) | | |

5. 観光

| | | | | | |
|------------------|---|-----------------|-----------------|------|---|
| 7-14 | 事業名 | 観光ボランティア養成事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | 各ガイドボランティアの高齢化等による稼働人員不足に対応するため新規募集等を行う。 また、一般社団法人青梅市観光協会との連携により、現在のボランティア活動の充実・強化を図るとともに、観光スポットにおいて、観光ガイドボランティア事業の立ち上げ、その運用を支援する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 観光客に対してより質の高いサービス提供のため、観光ガイドボランティア事業の確立とその運用支援を行い、観光客の更なる増加と地域の活性化を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・ガイドボランティア講習会等の実施 | ・ガイドボランティア事業の開始 | ・ガイドボランティア事業の充実 | | |
| | 26 | (82) | (80) | | |

【新規】

| | | | | | |
|------------------|--|------------------|--------------|------|---|
| 7-15 | 事業名 | おうめ！観光戦略創造プロジェクト | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | 市と市内観光関係機関等が連携して観光実態を詳細に把握し、検証を行うとともに、新たな観光客誘致策を講じるなど、戦略的な観光施策を推進する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 調査結果を活かした事業を市や市内観光関係機関等が連携して実施を行い、観光振興を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・観光実態調査 ・観光戦略方針の策定 | ・新たな事業の実施と検証 | ・新たな事業の実施と検証 | | |
| | 17,683 | (9,980) | (一) | | |

| | | | | | |
|------------------|---|------------|------------|------|---|
| 7-16 | 事業名 | 「道の駅」整備の検討 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 企画部 企画政策課 | | | |
| 事業概要 | 地域産業の振興と交流の拠点となる「道の駅」の整備に向けた調査・研究を実施する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 「道の駅」整備にかかる課題等を整理する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・整備に向けての検討 | ・整備に向けての検討 | ・整備に向けての検討 | | |
| | 15 | (15) | (一) | | |

(7-2 再掲)

| | | | | | |
|------------------|--|--|---|------|---|
| 7-17 | 事業名 | 梅の里再生事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 公園緑地課・まちづくり経済部 商工観光課 まちづくり経済部 農林課・まちづくり経済部 梅の里再生担当 | | | |
| 事業概要 | 「青梅市梅の里再生計画」にもとづき、再生・復興を達成するまでの期間をおおむね8年間とし、平成25年度を初年度とする前期3年間に「緊急対策プログラム」を、後期5年間に「再生・復興プログラム」を実施する。各施策を行うにあたり「青梅市梅の里再生計画推進委員会」等を開催し、協議・検証を行う。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 梅の里を早期に再生し、吉野梅郷を中心とする地区の魅力を向上させ、観梅客の増加を図るとともに地域経済の活性化を促進する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・新たな梅まつりの実施 ・梅の公園等の整備充実 ・梅苗木育成・管理等 ・援農ボランティア講座 | <ul style="list-style-type: none"> ・梅まつりの実施 ・梅の公園等の整備充実 ・梅苗木育成・管理等 ・援農ボランティア講座 | <ul style="list-style-type: none"> ・梅まつりの実施 ・梅の公園等の整備充実 ・梅苗木育成・管理 ・援農ボランティア講座 | | |
| | 72,302 | (65,816) | (79,950) | | |

| | | | | | |
|------------------|---|---|---|------|---|
| 7-18 | 事業名 | フィルムコミッション(ロケーションサービス)事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | 撮影に関する情報提供、公の施設等の許可申請、エキストラ手配等、撮影に対するサポート体制の構築を行うことにより、各種撮影がスムーズに行われるようにする。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 映像関係者を通して青梅市の魅力や情報を発信することにより、来街者数を向上させるとともに地域経済の活性化に寄与する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・撮影場所の情報提供等 ・ホームページの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・撮影場所の情報提供等 ・支援内容の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・撮影場所の情報提供等 | | |
| | 0 | (0) | (0) | | |

6. 雇用

| | | | | | |
|------------------|--|---------------------------|---------------------------|------|---|
| 7-19 | 事業名 | 就職面接会の開催 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | ハローワーク青梅、青梅商工会議所、しごとセンター多摩等との共催により、幅広い年齢層からの多様なニーズに即した、きめ細かい就職面接会や講習会等を行う。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 就業機会の増加による就業促進を図り、地域における雇用の拡大に努める。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・関係機関との共催による就職面接会、講習会等の実施 | ・関係機関との共催による就職面接会、講習会等の実施 | ・関係機関との共催による就職面接会、講習会等の実施 | | |
| | 0 | (0) | (0) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|--|--------|------|---|
| 7-20 | 事業名 | 女性・若者就職アシスト事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | | |
| 事業概要 | 出産・育児等で離職した女性の再就職や若年求職者を対象に、企業の雇用動向や人材ニーズなどのリサーチ結果を踏まえた人材育成プログラムを展開し、女性や若者の円滑な就労を支援する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 地域の企業の雇用動向や人材ニーズなど調査結果を踏まえた人材育成に取り組み、再就職を希望する女性や就職を希望する若者と企業とのマッチングを図り、就職までの一体的な支援を提供する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・講座の実施 ・合同企業面接会の開催 ・企業現場での就職前研修の実施 等 | ・講座の実施 ・合同企業面接会の開催 ・企業現場での就職前研修の実施 等 | | | |
| | 8,000 | (8,481) | (一) | | |

| | | | | |
|------------------|---|----------------|----------|------|
| 7-21 | 事業名 | 労働相談の実施 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | まちづくり経済部 商工観光課 | | |
| 事業概要 | 市民等からの労働に関する諸問題に対して、毎月1回、東京都社会保険労務士会所属の社会保険労務士による相談を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 労働相談を契機とし、雇用環境の改善を促進するとともに、市民の抱える問題解決を図る。 | | | |
| 事業計画 および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・労働相談の実施 | ・労働相談の実施 | ・労働相談の実施 | |
| | 0 | (0) | (0) | |

第8章 都市基盤が整う魅力あるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

| 指 標 | 単位 | 過去 | 基本計画 開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|---|----|----------|--------------|----------|----------|
| 地籍調査進捗率(D I D) | % | 38.5 | 43.8 | 47.8 | 58.1 |
| | | H21.3.31 | H25.3.31 | H28.3.31 | H35.3.31 |
| J R 青梅線利用者数 (河辺駅、東青梅駅、青梅駅 の乗車人員) [※] ○ | 人 | 27,876 | 26,795 | 27,111 | 26,800 |
| | | H14年度 | H23年度 | H27年度 | H34年度 |
| 水洗化率 | % | 89.5 | 92.3 | 94.4 | 100 |
| | | H15.3.31 | H25.3.31 | H28.3.31 | H35.3.31 |

※ J R 青梅線利用者数は、上記各駅における一日平均の乗車人員の合計

※○は、総合戦略で設定した重要業績評価指標(K P I)と共通の指標

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

| | | | |
|----------|---------------------|-----|---|
| 1. 都市形成 | | | |
| 8-1 | 都市計画マスタープランの改定・推進 | (1) | |
| 8-2 | 地籍調査事業 | (1) | |
| 8-3 | 今井土地区画整理事業の推進 | (2) | |
| 8-4 | 東青梅駅北口整備事業 | (2) | |
| 8-5 | 日本ケミコン跡地の利活用 | (2) | ● |
| 8-6 | 中心市街地活性化促進事業 | (2) | ● |
| 2. 道路 | | | |
| 8-7 | 都市計画道路の整備 | (2) | |
| 8-8 | 市道の改修・改良 | (2) | |
| 8-9 | 健康と歴史・文化の路整備事業 | (2) | |
| 8-10 | 電線類の地中化 | (2) | |
| 8-11 | 橋りょうの長寿命化 | (3) | |
| 3. 公共交通 | | | |
| 8-12 | 青梅市公共交通基本計画の推進 | (1) | ● |
| 8-13 | バス路線等補助事業 | (3) | ● |
| 8-14 | バス路線等補助事業(成木地区新路線) | (3) | ● |
| 4. 下水道 | | | |
| 8-15 | 公共下水道汚水事業の計画策定・推進 | (1) | |
| 8-16 | 合併処理浄化槽整備事業の計画策定・推進 | (1) | |
| 8-17 | 第3期事業区域の下水道(汚水)整備 | (1) | |
| 8-18 | 小曾木事業区域の下水道(汚水)整備 | (1) | |
| 8-19 | 御岳山事業区域の下水道(汚水)整備 | (1) | |
| 8-20 | ポンプ場の改修・更新 | (2) | |
| 5. 河川・砂防 | | | |
| 8-21 | 河川の維持改修 | (2) | |
| 6. 都市景観 | | | |
| 8-22 | 景観まちづくり計画事業 | (1) | |

1. 都市形成

| | | | | |
|------------------|---|-------------------|--------------|------|
| 8-1 | 事業名 | 都市計画マスタープランの改定・推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | まちづくり経済部 都市計画課 | | |
| 事業概要 | 「第6次青梅市総合長期計画」および東京都が定める「都市計画区域マスタープラン」に即して策定した「青梅市都市計画マスタープラン」を推進する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 都市計画マスタープランに定めた各方針に沿った計画的なまちづくりの推進を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・都市計画マスタープランの推進 | ・都市計画マスタープランの推進 | ・都市計画基礎調査の実施 | |
| | 0 | (0) | (1,070) | |

| | | | | |
|------------------|---|--|----------------------------------|------|
| 8-2 | 事業名 | 地籍調査事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 建設部 管理課 | | |
| 事業概要 | 一筆ごとの土地について、登記簿に記載された内容の確認、境界、地積の測量など調査を実施し、正確な地籍図と地籍簿を作成する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 都市再生地籍調査は、街区調査を1.05平方キロメートル、一筆地調査を0.33平方キロメートル実施し地籍の明確化を図り、平成30年度までにD I Dの地籍調査進捗率を52.2%まで上げるとともに、他事業とも連携し、効率的な整備を進める。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・基準点測量、権利調査、街区調査、一筆地調査、官民境界測量 | ・都市再生地籍調査(従来調査) ・社会資本整備円滑化地籍整備(御岳山) | ・都市再生地籍調査 ・社会資本整備円滑化地籍整備(御岳山) | |
| | 65,745 | (78,046) | (84,330) | |

| | | | | |
|------------------|--|---|---|------|
| 8-3 | 事業名 | 今井土地区画整理事業の推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | まちづくり経済部 まちづくり推進課 | | |
| 事業概要 | 「東京都西南部の流通業務施設に関する整備方針」にもとづき、今井4丁目地内において土地区画整理事業を進める地権者組合に対し、環境整備および技術支援、事業費補助を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 広域物流拠点整備による地域経済の発展および雇用機会の拡大を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・関係法令、関連計画に関する関係機関との協議 | ・関係法令、関連計画に関する関係機関との協議 ・環境影響評価関連事前協議および手続き | ・関係法令、関連計画に関する関係機関との協議 ・環境影響評価関連事前協議および手続き | |
| | 117 | (125) | (一) | |

| | | | | |
|------------------|---|-------------------|---------|------|
| 8-4 | 事業名 | 東青梅駅北口整備事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | まちづくり経済部 まちづくり推進課 | | |
| 事業概要 | 東青梅駅北口エレベーターの設置を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 利便性の向上やバリアフリー化、老朽化への対応のため、エレベーターの設置を含めた東青梅駅の駅舎建替えに向けたJR等との協議を進める。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・JR等と協議 | ・JR等と協議 | ・JR等と協議 | |
| | 0 | (0) | (一) | |

| | | | | | |
|------------------|--|-----------------------------|------------------|------|---|
| 8-5 | 事業名 | 日本ケミコン跡地の利活用 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 企画部 企画政策課・まちづくり経済部 まちづくり推進課 | | | |
| 事業概要 | 日本ケミコン跡地の利活用方策について、官庁施設の集約化や市民ホールの建設など多角的な見地から検討し、総合的な利活用構想および整備計画を策定する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 中心市街地における業務機能集積を進め、まちの活性化を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・日本ケミコン跡地にかかる利活用構想の策定準備 | ・日本ケミコン跡地にかかる利活用構想の策定 | ・利活用構想にもとづく取組の推進 | | |
| | 0 | (9, 936) | (一) | | |

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|------|---|
| 8-6 | 事業名 | 中心市街地活性化促進事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 まちづくり推進課 | | | |
| 事業概要 | 中心市街地活性化基本計画にもとづき、青梅駅前における市街地再開発や青梅街道沿道における空き店舗対策事業などを促進する。 また、都市機能増進を推進するまちづくり会社や、中心市街地活性化協議会を支援する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 街なか居住の促進、商業活力の向上、回遊性の向上を進め、中心市街地の活性化を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・認定基本計画事業推進 ・青梅駅前地区市街地再開発事業支援 ・青梅街道沿道空き店舗対策事業の推進 等 | ・認定基本計画事業推進 ・青梅駅前地区市街地再開発事業支援 ・青梅街道沿道空き店舗対策事業の推進 等 | ・認定基本計画事業推進 ・青梅駅前地区市街地再開発事業支援 ・青梅街道沿道町家再生事業の推進 等 | | |
| | 11, 822 | (99, 142) | (一) | | |

2. 道路

| | | | | |
|------------------|--|---|---|------|
| 8-7 | 事業名 | 都市計画道路の整備 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 建設部 土木課 | | |
| 事業概要 | 青梅都市計画道路3・5・5号新奥多摩街道線、3・5・24号根ヶ布長淵線および3・5・26号永山グランド線の整備を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 都市計画道路の整備により、都市活動の基盤である道路ネットワークを形成し、交通の円滑化、安全性、防災性、利便性の向上や周辺地域の活性化を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 3.5.5用地購入、物件補償 3.5.24擁壁設置工事 3.5.26電柱移設 | <ul style="list-style-type: none"> 3.5.5総合高校設計 3.5.24擁壁設置工事、次期計画区間測量 3.5.26用地購入、擁壁工事 | <ul style="list-style-type: none"> 3.5.24街築工事 3.5.26用地購入物件補償、JR協定 | |
| | 388,882 | (332,674) | (284,880) | |

| | | | | |
|------------------|---|--|--|------|
| 8-8 | 事業名 | 市道の改修・改良 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 建設部 土木課 | | |
| 事業概要 | 青梅市道整備基準にもとづき、交通量や地域性を考慮しながら、狭あい部分の拡幅整備などを進めるとともに、常時良好な状態に保つよう維持補修を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 交通危険個所の解消や安全で快適な空間の確保など、人にやさしい道づくりにより、交通の円滑化、安全性、交通利便性の向上を図るとともに、災害に強いまちづくりを実現する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 改修工事、用地取得、路面改良 等 | <ul style="list-style-type: none"> 改修工事、用地取得、路面改良 等 | <ul style="list-style-type: none"> 改修工事、用地取得、路面改良 等 | |
| | 134,760 | (151,497) | (213,960) | |

| | | | | |
|------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|------|
| 8-9 | 事業名 | 健康と歴史・文化の路整備事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 建設部 土木課 | | |
| 事業概要 | 「健康と歴史・文化の路」として位置付けられた市道において、現状の幅員の中で、道路景観に配慮した舗装や排水施設等の整備を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 市道を利用する、人と車の安全・安心の向上および快適性の増進を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・「健康と歴史・文化の路」整備事業計画にもとづく整備工事 | ・「健康と歴史・文化の路」整備事業計画にもとづく測量・設計委託、整備工事 | ・「健康と歴史・文化の路」整備事業計画にもとづく測量・設計委託、整備工事 | |
| | 8,226 | (13,770) | (8,000) | |

| | | | | |
|------------------|---|---------------------------|------------------|------|
| 8-10 | 事業名 | 電線類の地中化 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 建設部 土木課 | | |
| 事業概要 | 青梅都市計画道路3・5・5号新奥多摩街道線および3・5・26号永山グラウンド線の整備にあわせ、電線類地中化工事を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 電線類の地中化により、快適な歩行者空間の確保、市民生活の安全性、利便性の向上や災害に強いまちづくり等を実現する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・本管工事 ・他企業工事 等 | ・本管工事 ・車線切替 ・詳細設計委託 | ・引連工事 ・詳細設計委託 | |
| | 48,026 | (62,707) | (56,600) | |

| | | | | |
|------------------|---|-----------------------|-----------------------|------|
| 8-11 | 事業名 | 橋りょうの長寿命化 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 建設部 土木課 | | |
| 事業概要 | 道路台帳整備のもと、道路橋りょうを点検し計画的な予防保全・補修・修繕を実施し長寿命化を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 橋りょうが本来持つ耐久性の発揮や、その耐久性をさらに延伸させることにより、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、市内の道路ネットワークの継続的な安全性・信頼性を確保する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・点検 ・補修設計 | ・点検 ・補修設計 ・補修工事 | ・点検 ・補修設計 ・補修工事 | |
| | 56,984 | (99,733) | (298,450) | |

3. 公共交通

| | | | | |
|------------------|--|-------------------|-----------------|---|
| 8-12 | 事業名 | 青梅市公共交通基本計画の推進 | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 まちづくり推進課 | | |
| 事業概要 | 青梅市公共交通協議会において、協議・検討を行い、青梅市公共交通基本計画事業を推進する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 青梅市公共交通基本計画に掲げる基本理念「快適な生活を支え・育み・続ける、市民主体の公共交通システムの構築」の実現を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・青梅市公共交通基本計画の推進 | ・青梅市公共交通基本計画の推進 | ・青梅市公共交通基本計画の推進 | |
| | 4,027 | (3,816) | (3,810) | |

| | | | | | |
|------------------|--|-----------------------------------|-----------------------------------|------|---|
| 8-13 | 事業名 | バス路線等補助事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 まちづくり推進課 | | | |
| 事業概要 | 交通事業者等の経営努力を適正に評価する新たな公的支援制度を創設・運用する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | バス路線の維持確保や活性化を図るとともに、新規路線の開設、路線変更などを促し、本市の地域特性に応じた公共交通網の実現を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・公共負担金によるバス路線の維持 ・新たな公的支援制度の検討 | ・公共負担金によるバス路線の維持 ・新たな公的支援制度の検討 | ・公共負担金によるバス路線の維持 ・新たな公的支援制度の検討 | | |
| | 130, 131 | (135, 131) | (135, 130) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|-------------------------|-------------------------|------|---|
| 8-14 | 事業名 | バス路線等補助事業(成木地区新路線) | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | まちづくり経済部 まちづくり推進課 | | | |
| 事業概要 | 都営バス減便の影響が大きかった成木地区において、地域公共交通改善制度を活用し、地域のニーズに合った、利便性、効率性の高い、持続可能な新たな公共交通システムを構築および運用する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 地域公共交通の改善に向け、地域での検討結果に対応した運行ができる交通事業者、利用者数、一定の収支を確保するよう、地域特性に応じた新たな公共交通システムの実現を目指す。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・新たな公共交通システムの検討 | ・地域公共交通の維持および利用促進策の取組支援 | ・地域公共交通の維持および利用促進策の取組支援 | | |
| | 0 | (0) | (-) | | |

4. 下水道

| | | | | |
|------------------|--|-------------------|--------------------------------------|------|
| 8-15 | 事業名 | 公共下水道汚水事業の計画策定・推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 下水工務課 | | |
| 事業概要 | 青梅市の公共下水道未整備地区における汚水事業の計画策定、事業の推進を図る。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 早期の整備による全市水洗化を図り、河川の水質改善や自然環境の保全および快適で衛生的な生活環境を創出する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・公共下水道汚水事業の整備推進 | ・公共下水道汚水事業の整備推進 | ・公共下水道汚水事業の整備推進 ・中期構想検討委員会設置要綱の制定 | |
| | 0 | (20, 114) | (10, 000) | |

| | | | | |
|------------------|---|---|--|------|
| 8-16 | 事業名 | 合併処理浄化槽整備事業の計画策定・推進 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 下水管理課・環境部 下水工務課 | | |
| 事業概要 | 公設浄化槽の設置および個人所有浄化槽の譲渡を受け、公設浄化槽の適切な維持管理を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 公設浄化槽の設置および個人所有浄化槽の譲渡を受け、公設浄化槽の適切な維持管理を行うことで、生活環境の向上と河川等の水質保全を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・事業継続 ・公設浄化槽設置 94基と工事に伴う実施設計 ・浄化槽維持管理 244基 | ・事業継続 ・公設浄化槽設置 94基と工事に伴う実施設計 ・浄化槽維持管理358基 | ・事業継続 ・公設浄化槽設置 94基と工事に伴う実施設計 ・浄化槽維持管理 576基 | |
| | 142, 570 | (170, 913) | (165, 290) | |

| | | | | |
|------------------|---|-------------------|-------------------|------|
| 8-17 | 事業名 | 第3期事業区域の下水道(汚水)整備 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 下水工務課 | | |
| 事業概要 | 第3期事業区域(約56.37ha)(御岳、沢井、二俣尾、柚木町地区ほか)の汚水排水施設整備を実施する。 L=4,461.4m | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 早期の整備による全市水洗化を図り、河川の水質改善や自然環境の保全および快適で衛生的な生活環境を創出する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・工事延長 L=1,020.1m | ・工事延長 L=857.7m | ・工事延長 L=340.3m | |
| | 235,105 | (220,922) | (54,770) | |

| | | | | |
|------------------|---|-------------------|-------------------|------|
| 8-18 | 事業名 | 小曾木事業区域の下水道(汚水)整備 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 下水工務課 | | |
| 事業概要 | 未普及地域となっている小曾木(150.84ha)事業区域の汚水排水施設整備を実施する。 L=9,630m | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 早期の整備による全市水洗化を図り、河川の水質改善や自然環境の保全および快適で衛生的な生活環境を創出する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・工事延長 L=2,690m | ・工事延長 L=2,980m | ・工事延長 L=2,390m | |
| | 608,668 | (575,830) | (548,700) | |

| | | | | |
|------------------|---|--|--|------|
| 8-19 | 事業名 | 御岳山事業区域の下水道(汚水)整備 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 下水工務課 | | |
| 事業概要 | 未普及地域となっている御岳山(約7.1ha)事業区域の汚水排水施設整備を実施する。 L=3,031.6m | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 早期の整備による全市水洗化を図り、河川の水質改善や自然環境の保全および快適で衛生的な生活環境を創出する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・御岳山ケーブル滝本駅～御岳山駅間の実施設計(一部修正) | ・下水道管きょ布設工事 ①L=262m(連絡管) ・御岳山住宅地区の詳細設計 | ・下水道管きょ布設工事 ②L=474m(連絡管) ・御岳山住宅地区の整備 ①L=約786m | |
| | 497 | (100,850) | (251,920) | |

| | | | | |
|------------------|---|------------------------------------|---|------|
| 8-20 | 事業名 | ポンプ場の改修・更新 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 環境部 下水管理課 | | |
| 事業概要 | 「青梅市中継ポンプ場改築事業計画」にもとづき、中継ポンプ場の耐震補強や建物保全整備、機械・電気設備等の改修工事を施工する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | ポンプ場機能の維持管理を行い、都市生活の充実と快適な居住環境を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・北部ポンプ場耐震補強工事 ・大柳ポンプ場電気設備改修設計委託 他 | ・北部ポンプ場耐震補強工事 ・大柳ポンプ場電気設備改修工事 他 | ・北部ポンプ場屋上防水、外壁改修(ストック) ・大柳ポンプ場電気設備改修工事 他 | |
| | 264,388 | (158,956) | (173,200) | |

5. 河川・砂防

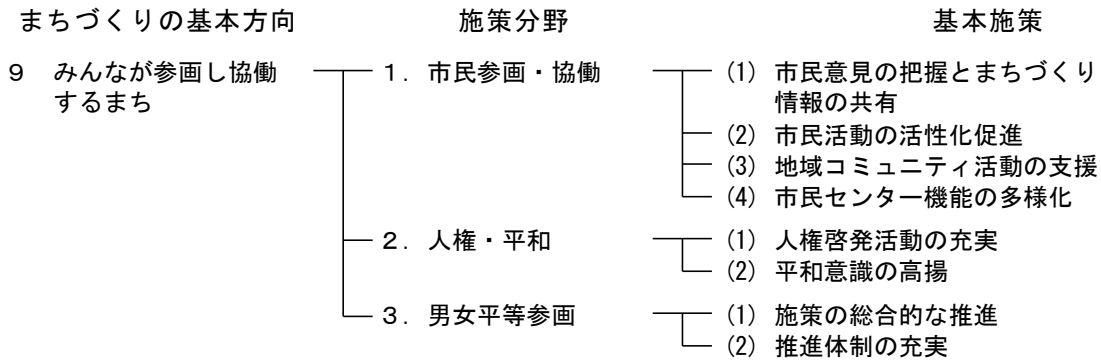
| | | | | |
|------------------|--|---|--|------|
| 8-21 | 事業名 | 河川の維持改修 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 建設部 土木課 | | |
| 事業概要 | 自然環境への影響、動植物の生態系や水質の保全に配慮し、護岸等の河川整備を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | いっ水、道路の冠水等を防ぎ、公共の安全を保持するとともに、河川沿いにおける安全な市民生活を確保する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 河川維持工事 大門川用地測量（霞川合流部～水門） 八幡堀水路設計委託 | <ul style="list-style-type: none"> 河川維持工事 八幡堀水路整備工事 | <ul style="list-style-type: none"> 河川維持工事 大門川用地取得（霞川合流部～水門） 八幡堀水路整備工事 | |
| | 12,276 | (12,207) | (25,000) | |

6. 都市景観

| | | | | |
|------------------|---|--|--|------|
| 8-22 | 事業名 | 景観まちづくり計画事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | まちづくり経済部 都市計画課 | | |
| 事業概要 | 多摩川沿い地区の景観形成のかなめとなる地区を青梅市の美しい風景を育む条例の「景観形成地区」に指定するとともに、地区内の景観形成基準等を策定する。また、基準にもとづく助言・指導を行う。青梅駅周辺景観形成地区では、社会資本総合整備計画にもとづき住宅修景や協議会助成を行う。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 多摩川沿い景観形成地区では、自然豊かな環境・景観を守り、活かすとともに、多摩川沿い地区ならではのまちの景観形成を図る。青梅駅周辺景観形成地区では、地元の市民団体と連携を図りながら、様々な歴史的建築物との調和と周辺の山並みへの眺めの保全を図り、良好な街なみ景観を形成していく。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 重要資源修景助成 市民団体運営助成 | <ul style="list-style-type: none"> シンポジウム 重要資源修景助成 市民団体運営助成 | <ul style="list-style-type: none"> 重要資源修景助成 市民団体運営助成 | |
| | 530 | (3,243) | (530) | |

第9章 みんなが参画し協働するまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

| 指 標 | 単位 | 過去 | 基本計画開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|-----------------------------|----|---------|----------|---------|----------|
| 青梅ボランティア・市民活動センターに登録している団体数 | 団体 | 21 | 68 | 72 | 90 |
| | | H14年度 | H24年度 | H27年度 | H34年度 |
| 市の審議会等における女性の参画率 | % | 19.7 | 22.2 | 23.0 | 33.3 |
| | | H20.4.1 | H24.4.1 | H28.4.1 | H35.3.31 |

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

| | | | |
|------------|--------------------------|-----|---|
| 1. 市民参画・協働 | | | |
| 9-1 | ホームページを活用した情報発信の充実 | (1) | |
| 9-2 | 協働推進事業 | (2) | |
| 9-3 | 青梅ボランティア・市民活動センターの活動促進事業 | (2) | |
| 9-4 | 自治会加入促進事業 | (3) | ● |
| 2. 人権・平和 | | | |
| 9-5 | 平和事業 | (2) | |
| 3. 男女平等参画 | | | |
| 9-6 | 男女平等参画推進事業 | (1) | ● |

1. 市民参画・協働

| | | | | |
|------------------|---|---------------------------|---------------------------|------|
| 9-1 | 事業名 | ホームページを活用した情報発信の充実 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 企画部 秘書広報課・企画部 情報システム課 | | |
| 事業概要 | 利用者により分かりやすく効果的な情報配信ができるよう、計画的にホームページシステムの機器等の更新を行うことにより、デザインや構成内容の充実を図るとともに、最新の情報配信機能を活用した運用を推進する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 最新の情報発信機能を利用した情報提供やデザイン、構成内容の充実を図ることにより利便性の向上に努め、青梅市の情報や魅力を広く発信する。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・ホームページの運用、デザイン・構成等の随時見直し | ・ホームページの運用、デザイン・構成等の随時見直し | ・ホームページの運用、デザイン・構成等の随時見直し | |
| | 3,299 | (3,925) | (3,770) | |

| | | | | |
|------------------|---|--|--|------|
| 9-2 | 事業名 | 協働推進事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 市民部 市民活動推進課 | | |
| 事業概要 | 市民提案協働事業の周知を図り、円滑に実施する。 また、新任職員および各課の協働事業推進員を対象とした研修を実施するとともに、市民活動団体組織強化のための支援講座を実施する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 市民提案協働事業の円滑な事業実施、協働の意識啓発活動に引き続き取り組み、市民活動団体等の社会貢献活動を支援、促進し、協働のまちづくりを目指す。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | ・提案事業への助成と制度の随時見直し ・協働研修の実施 ・団体の組織強化 ・団体育成策の検討 | ・提案事業への助成と制度の全体的な見直し ・協働研修の実施 ・団体の組織強化 ・新規活動団体の育成 | ・提案事業への助成と制度の随時見直し ・協働研修の実施 ・団体の組織強化 ・新規活動団体の育成 | |
| | 1,088 | (1,088) | (1,080) | |

| | | | | | |
|------------------|---|--------------------------|-------------------------|------|--|
| 9-3 | 事業名 | 青梅ボランティア・市民活動センターの活動促進事業 | | 総合戦略 | |
| | 担当課 | 市民部 市民活動推進課 | | | |
| 事業概要 | 青梅ボランティア・市民活動センターの周知を図るとともに、共助社会づくりのための今後のボランティアのあり方などを検討し、市民活動の活発化に向けた機能向上を図る。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 青梅ボランティア・市民活動センターの周知を図るとともに、機能充実、組織強化を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・青梅ボランティア・市民活動センターの機能向上 | ・青梅ボランティア・市民活動センターの機能向上 | ・青梅ボランティア・市民活動センターの機能向上 | | |
| | 19,288 | (20,447) | (20,440) | | |

| | | | | | |
|------------------|--|--|--|------|---|
| 9-4 | 事業名 | 自治会加入促進事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 市民部 市民活動推進課 | | | |
| 事業概要 | 自治会への加入を推進するための周知活動を実施する。 また、自治会連合会支会長会等において加入・退会対策に向けた事業や方策等を検討する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 自治会加入促進活動を展開することで、多くの市民が自治会に加入し、地域の団結力や地域意識を市民レベルで向上できる地域づくりの実現を目指す。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | ・パンフレット等の作成 ・新規加入者や退会者への対応策等を検討 ・自治会負担金の軽減 ・協定の締結 | ・パンフレット等の作成 ・新規加入者や退会者への対応策等を検討 ・自治会負担金の軽減 | ・パンフレット等の作成 ・新規加入者や退会者への対応策等を検討 ・自治会負担金の軽減 | | |
| | 599 | (1,607) | (1,600) | | |

2. 人権・平和

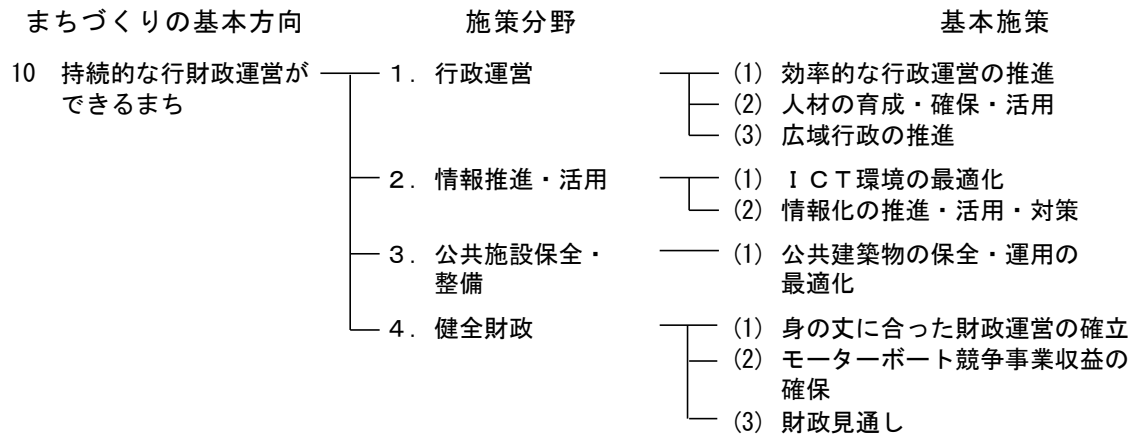
| | | | | | |
|------------------|---|---|---|------|--|
| 9-5 | 事業名 | 平和事業 | | 総合戦略 | |
| | 担当課 | 企画部 秘書広報課 | | | |
| 事業概要 | 戦争を経験したことの少ない多くの世代に、戦争や平和について考えるきっかけとなる各種平和事業を実施する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 広く市民に平和思想が普及するよう、平和事業に取り組む。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・中学生をヒロシマに派遣(羽村市合同事業) ・各種平和事業の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学生をヒロシマに派遣(羽村市合同事業) ・各種平和事業の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・中学生をヒロシマに派遣(羽村市合同事業) ・各種平和事業の推進 | | |
| | 5,367 | (5,365) | (5,370) | | |

3. 男女平等参画

| | | | | | |
|------------------|---|--|---|------|---|
| 9-6 | 事業名 | 男女平等参画推進事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 企画部 企画政策課 | | | |
| 事業概要 | 各種講座や講演会の開催、情報紙「よつばの手紙」の発行など、「青梅市男女平等推進計画・青梅市プラン」にもとづいた男女平等意識の普及・啓発活動、さらに女性が活躍できる社会づくりに取り組む。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 男女平等意識の普及・啓発活動に継続して取り組み、男女が互いにその権利を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、それぞれの個性と能力が発揮できる社会の実現を目指す。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・講座等の実施 ・情報紙の作成(年2回) ・懇談会の開催等 | <ul style="list-style-type: none"> ・推進計画の策定 ・講座等の実施 ・情報紙の作成(年2回) ・懇談会の開催 ・女性活躍推進事業等 | <ul style="list-style-type: none"> ・講座等の実施 ・情報紙の作成(年2回) ・懇談会の開催等 ・女性活躍推進事業等 | | |
| | 1,618 | (4,388) | (4,270) | | |

第 10 章 持続的な行財政運営ができるまち

【施策の展開】



【まちづくりの指標】

| 指 標 | 単位 | 過去 | 基本計画 開始時点 | 現状 | 到達目標 |
|----------------------------------|----|--------|--------------|--------|--------|
| 市役所に対する印象として、仕事が早く効率が良いと思う市民の割合※ | % | 20.8 | 22.7 | 25.6 | 50.0 |
| | | H13 年度 | H23 年度 | H28 年度 | H33 年度 |
| 経常収支比率 | % | 89.3 | 95.8 | 96.7 | 90.0 |
| | | H14 年度 | H23 年度 | H27 年度 | H34 年度 |

※平成 23 年に実施した第 28 回市政総合世論調査までは「仕事の能率が良い」という項目を参照している。

【事業一覧】 ※事業一覧は、左から事業番号・事業名・基本施策番号・総合戦略事業の該当の有無(該当は●)の順で記載されています。

| | | | | |
|--------------|------|---------------|-----------------|---|
| 1. 行政運営 | | | | |
| | 10-1 | 行財政改革推進事業 | (1) | |
| 2. 情報推進・活用 | | | | |
| | 10-2 | 業務システムの最適化 | (1) | |
| | 10-3 | 地域の魅力発信事業 | 【新規】 (2) | ● |
| 3. 公共施設保全・整備 | | | | |
| | 10-4 | 公共施設等マネジメント事業 | 【新規】 (1) | ● |
| 4. 健全財政 | | | | |

1. 行政運営

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 10-1 | 事業名 | 行財政改革推進事業 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 企画部 行政管理課 | | |
| 事業概要 | 青梅市行財政改革推進プランにもとづき、5年間の行革取組項目の進捗管理を行う。 また、行政評価が行財政改革につながるよう、既存の評価方法の活用について検討する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 行財政改革の推進により、事務の改善、事務経費の削減、職員の削減等による効率化を図り、持続的な行政運営に取り組んでいく。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 青梅市行財政改革推進委員会の開催(6回) 取組項目の進捗管理 | <ul style="list-style-type: none"> 青梅市行財政改革推進委員会の開催(7回) 取組項目の進捗管理 新行財政改革推進プランの作成 | <ul style="list-style-type: none"> 青梅市行財政改革推進委員会の開催(3回) 取組項目の進捗管理 | |
| | 745 | (876) | (500) | |

2. 情報推進・活用

| | | | | |
|------------------|---|---|---|------|
| 10-2 | 事業名 | 業務システムの最適化 | | 総合戦略 |
| | 担当課 | 企画部 情報システム課 | | |
| 事業概要 | 住民情報等の基幹系業務システムの計画的な更新を行い、システムの最適化と安定した運用を図るとともに、各業務システムの統合、共有化による業務システム全体の最適化を推進する。 | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | システムの冗長化や最新機器の導入について積極的に取り組むことにより、情報システムの更なる効率化と運用の安全性を高め、行政事務効率の向上を図る。 | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> 基幹系業務システム運用 各業務システム機器の統合、共有化 | <ul style="list-style-type: none"> 基幹系業務システム運用 各業務システム機器の統合、共有化 | <ul style="list-style-type: none"> 基幹系業務システム運用 各業務システム機器の統合、共有化 | |
| | 206,350 | (210,990) | (209,480) | |

【新規】

| | | | | | |
|------------------|---|--|--|------|---|
| 10-3 | 事業名 | 地域の魅力発信事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 企画部 企画政策課・企画部 秘書広報課・企画部 財政課 | | | |
| 事業概要 | 青梅市が誇る魅力ある観光資源に関する情報発信に積極的に取り組み、市民の郷土愛を育むとともに市外の方々の青梅市に対する愛着心を醸成する。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 青梅市の魅力を伝える様々なツールを企画立案し、定住・定着による転出抑制を図るとともに、戦略的に転入促進を図る。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・転入者おもてなし事業等の推進・拡充検討 ・青梅市カレンダーの作成・配布 ・ふるさと納税の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業の推進・検証 ・青梅市カレンダーの作成・配布 ・ふるさと納税の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業の推進・検証 ・青梅市カレンダーの作成・配布 ・ふるさと納税の推進 | | |
| | 6,783 | (9,712) | (9,710) | | |

3. 公共施設保全・整備

【新規】

| | | | | | |
|------------------|---|---|---|------|---|
| 10-4 | 事業名 | 公共施設等マネジメント事業 | | 総合戦略 | ● |
| | 担当課 | 企画部 公共施設再編担当 | | | |
| 事業概要 | 人口構成の変化や地域人口の変動による、公共施設等における行政サービスの需要と供給のバランスを検証し、施設の再編を含めた適正配置と施設保有量の縮減を図るとともに必要性和緊急度等を勘案し適切な保全整備を進める。 | | | | |
| 計画期間中における事業の推進目標 | 公共施設等総合管理計画(公共施設再編計画)にもとづき、公共施設等の再編に取り組むことで、少子高齢化に伴う人口構成や市民ニーズの変化に対応する。 | | | | |
| 事業計画および事業費 | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再編計画の策定 ・公共施設等総合管理計画の策定 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画の推進 | | |
| | 29,281 | (55,231) | (－) | | |

重要業績評価指標（K P I）の進ちょく状況

重要業績評価指標(K P I)は、青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、各施策の効果を客観的に検証できる指標として、総合戦略に定めた目標値のことです。

なお、総合戦略の計画期間は平成 27(2015)年度から平成 31(2019)年度までの 5 年間となっています。

【重要業績評価指標（K P I）】

| 指標（K P I） | 単位 | 総合戦略 開始時点 (基準値) | 現状 | 数値目標 |
|--|----|-----------------------|---------------|-----------|
| 保育所待機児童数 ○ | 人 | 20 | 25 | 0 |
| | | H27. 4. 1 | H28. 4. 1 | H32. 4. 1 |
| 学童保育所待機児童数 ○ | 人 | 194 | 223 | 0 |
| | | H27. 4. 1 | H28. 4. 1 | H32. 4. 1 |
| 合計特殊出生率 | | 1. 27 | 1. 18 | 1. 32 |
| | | H26 | H27 | H31 |
| 「全国学力・学習状況調査」 における各教科の平均正答率 | | 平均を下回 っている | 平均を下回 っている | 平均を上回る |
| | | H27年度 | H28年度 | H31年度 |
| 生涯学習講座・教室受講者 数 ○ | 人 | 7, 092 | 6, 369 | 8, 100 |
| | | H26年度 | H27年度 | H31年度 |
| 企業誘致条例を活用した誘 致企業数(累計) | 件 | 3 | 3 | 6 |
| | | H27. 4. 1 | H28. 4. 1 | H32. 4. 1 |
| 民営従業者数(経済センサ ス) ○ | 人 | 52, 370 | 52, 370 | 53, 000 |
| | | H24 | H24 | H30 |
| 青梅市中心市街地活性化交 通量調査における青梅駅周 辺の歩行者通行量 | 人 | 18, 999 | 18, 999 | 20, 000 |
| | | H24年度 | H24年度 | H32年度 |
| 青梅市の認知度 | % | 95. 1 | 95. 1 | 100 |
| | | H27年度 | H27年度 | H32年度 |
| 転入超過率 | | △1. 2242 | 2. 2414 | 0以上 |
| | | H26 | H27 | H31 |
| 空家の活用事例数(累計) | 件 | 1 | 1 | 10 |
| | | H26年度 | H27年度 | H31年度 |

| 指標(K P I) | 単位 | 総合戦略 開始時点 (基準値) | 現状 | 数値目標 |
|--|----|-----------------------|--------|--------|
| J R 青梅線利用者数(河辺 駅・東青梅駅・青梅駅の乗 車人員) ○ | 人 | 26,984 | 27,111 | 26,900 |
| | | H26年度 | H27年度 | H31年度 |
| 自治会加入率 | % | 45 | 44 | 45%以上 |
| | | H27年度 | H28年度 | H31年度 |
| 交流・連携を目的とした自 治体との協定数 | | 10 | 10 | 11以上 |
| | | H27年度 | H27年度 | H31年度 |

※○は、実施計画で設定したまちづくりの指標と共通の指標

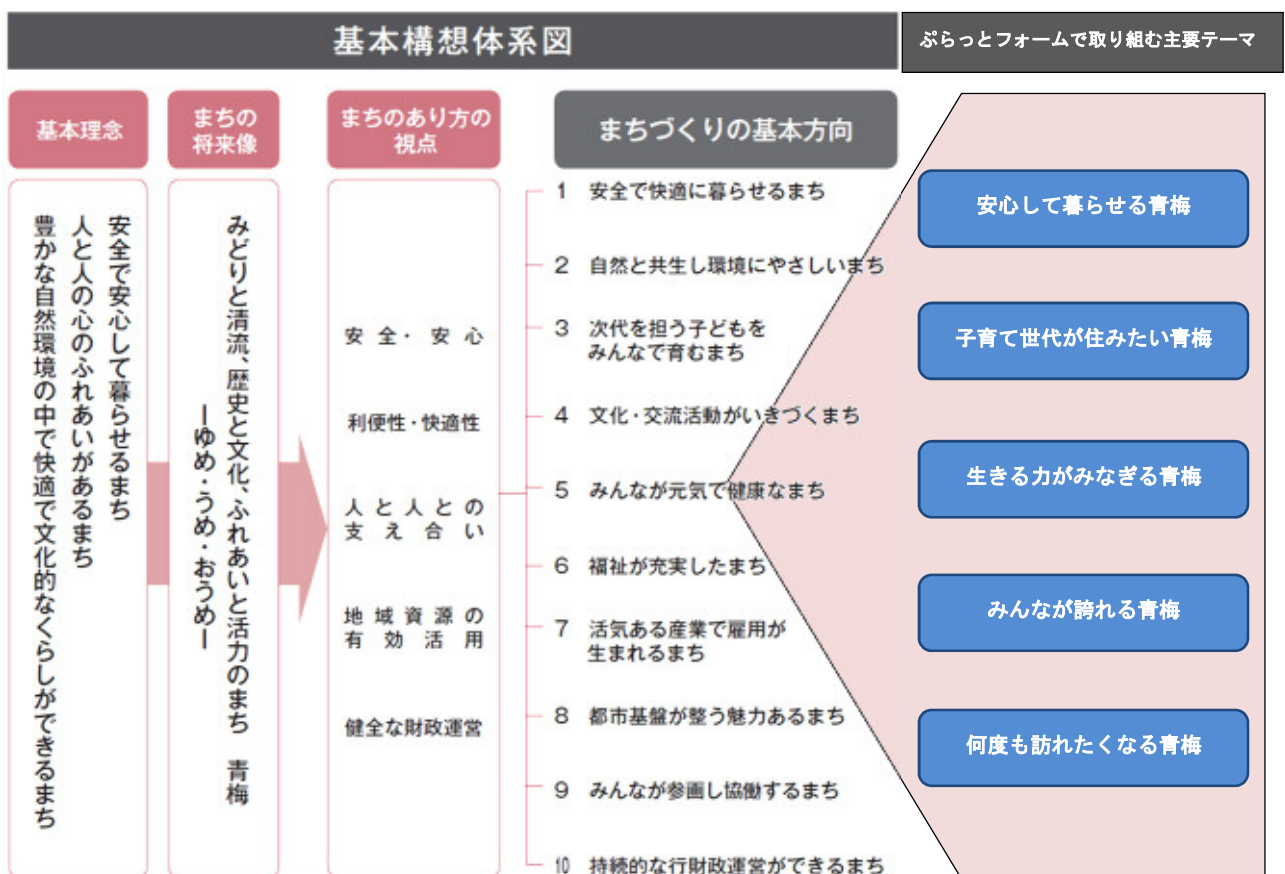
3. 施策連動型のしくみ

1. 基本的な考え方

第6次青梅市総合長期計画では、基本構想に掲げるまちの将来像の実現に向けて、暮らしやすさの視点に立った、青梅らしさを醸し出すまちづくりを戦略的に進めるために、施策連動型のしくみ(ぷらっとフォーム)を展開していきます。

施策連動型のしくみ(ぷらっとフォーム)は、主要テーマのもとに参画する多様な主体が目標や目的を共有し、まちづくりにおけるそれぞれの役割を認識し、水平的なつながりの中で協力・連携(施策連動)する場として機能します。

実施計画では、社会情勢や経済動向などを踏まえ、主要テーマにもとづく連動すべき分野や施策の設定、協議の場づくりや取組手法などについて3か年の計画を示し取り組んでいきます。



2. 平成 27 年度の取組

平成27年度 リーディングプロジェクトの設定・ぷらっとフォーム事業の推進

○これまで開催したぷらっとカフェ(ぷらっとカフェ推進ワークショップ)での意見や、平成 26 年度に青梅市人口減少社会調査研究プロジェクトチームが調査・研究を行った内容を取り入れ、青梅市独自の人口減少の抑制、定住人口の増加策等を盛り込んだ「青梅市人口ビジョン」および「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

3. 実施計画

平成28年度 青梅市版人口ビジョン、総合戦略策定におけるぷらっとフォームの活用

○「青梅市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における政策パッケージを推進するに当たり、ぷらっとフォームの仕組みを活用し、市民をはじめ様々な主体が参画・連携・協働し、事業を推進する体制を整える。

○ぷらっとカフェを開催し、多様な主体の話し合いの場でも出された意見等を総合戦略事業の推進等に反映する。

平成29年度 青梅市版人口ビジョン、総合戦略推進におけるぷらっとフォームの活用

○ぷらっとフォームの推進体制のもとで、政策パッケージを中心に総合戦略の事業を推進するとともに、P D C A サイクルを通じて、事業の進捗状況等を K P I にもとづき検証する。

○ぷらっとカフェを開催し、多様な主体の話し合いの場でも出された意見を総合戦略事業の推進等に反映する。

平成30年度 ぷらっとフォームを活用しての総合戦略事業の検証・推進

○ぷらっとフォームの推進体制のもとで進めてきた総合戦略事業について、検証結果にもとづいた見直し等を行う。

○ぷらっとカフェを開催し、多様な主体の話し合いの場でも出された意見を総合戦略事業の推進等に反映する。

4. 事業計画取組状況一覧 (平成 27 年度事業)

事業計画取組状況一覧(平成 27 年度事業)

| 事業 番号 | 事業名 | 平成 27 年度の取組状況 |
|----------|-----------------------------|--|
| 1-1 | 青梅市地域防災計画の修正 | 防災会議(1回)を開催し、地域防災計画の検証および推進を図った。 |
| 1-2 | 業務継続計画の推進 | 震災時等における指定動員職員の変更を行った。 |
| 1-3 | 避難所機能の強化 | 備蓄食料を購入するとともに、民間企業等との災害時の応援協定(4件)を締結した。 |
| 1-4 | 消防団の充実 | 女性団員の運用、機能別団員制度および協力事業所制度を導入するとともに、被服の更新・購入、健康診断を実施した。 |
| 1-5 | 消防機材等の整備 | 老朽化した小型動力ポンプ 4 台を更新した。また、消防団無線デジタル化の賃貸借契約を締結した。 |
| 1-6 | 市民防災ハンドブックの活用 推進 | 各地区で市民防災ハンドブックの説明会を実施した。また、転入者へ配付を行った。 |
| 1-7 | 土砂災害対策の充実 | 成木地区をモデル地区とし、地域との協働により土砂災害ハザードマップを更新し、区内全戸へ配付した。また、第 1 支会において土砂災害対応訓練および水防訓練を実施した。 |
| 1-8 | 地区防災計画の策定・推進 [地区防災計画の推進] | 地区防災計画の策定支援として、各市民センターへ参考資料を配付した。 |
| 1-9 | 避難行動要支援者支援対策の 推進 | 避難行動要支援登録者を抽出し、登録者の同意確認を行うとともに名簿を作成した。また、関係者等への制度説明を行い、名簿の提供等に係る覚書の締結を推進した。 |
| 1-10 | 防災リーダーの育成 | 日本防災士機構が定める「防災士」の資格を 8 名が取得し、防災リーダーの育成を図った。また、防災リーダー講習会を実施した。 |
| 1-11 | 家具転倒防止器具等支給取付 事業 | 平成 27 年度の計画世帯数 360 世帯に対し、191 世帯に支給した。 |
| 1-12 | 防災行政無線の整備 | 固定系 5 局の新設工事を行った。 |
| 1-13 | 青梅交通安全協会の活動支援 | 「交通安全のつどい」など交通安全の啓発、保育園で実施した指人形劇による交通安全教室や各種街頭指導等の活動支援を行った。 |
| 1-14 | 安全・安心な学校づくりの推 進事業 | 通学路防犯カメラの設置に向けて、計画を行った。また、防犯ブザーの給付、青梅子ども 110 番の家、青色防犯パトロール等、防犯体制の強化に取り組んだ。 |

| 事業番号 | 事業名 | 平成 27 年度の取組状況 |
|------|------------------|---|
| 1-15 | 消費者保護の充実 | 消費者相談の実施および消費生活相談員のスキルアップ研修への受講支援を行った。また、特殊詐欺被害防止機器の貸与等、消費者被害の防止を図った。 |
| 1-16 | 市営住宅長寿命化計画の推進 | 大門第 5・6 住宅耐震・二方向・外壁工事・工事監理委託および長淵第 4 住宅 3・4 号棟耐震改修等設計委託を実施した。 |
| 1-17 | 課題のある市営住宅の撤去事業 | 用途廃止住宅居住者と交渉を行い、13 戸の世帯が移転した。 |
| 1-18 | 木造戸建住宅耐震化事業 | 耐震診断 3 件、耐震改修 4 件に対し補助金を交付した。 |
| 1-19 | 緊急輸送道路沿道建築物耐震化事業 | 耐震診断 2 件、耐震補強設計 2 件、耐震改修 1 件に対し補助金を交付した。 |
| 1-20 | 空家対策事業 | 空家に関する相談体制を構築するとともに、空家等対策庁内検討委員会を設置した。また、協働事業として「おそき空家バンク」を実施した。 |
| 1-21 | 新たな住宅施策の推進 | 住宅施策推進協議会(5回)を開催したほか、住宅なんでも相談会、定例住宅相談会を開催した。また、移住・定住・交流推進支援事業助成金を交付した。 |
| 1-22 | 公園施設長寿命化計画の推進 | 公園施設長寿命化計画にもとづき、老朽化した公園施設の修繕を実施した。 |
| 1-23 | 都市公園等の整備 | 畑中戸田山公園の未整備箇所の整備手法について検討した。 |
| 1-24 | 釜の淵緑地の整備 | 整備計画について、庁内での調整を図った。 |
| 1-25 | 緑の基本計画の推進 | 計画目標に向けた個別施策の取組状況の確認および推進を図った。 |
| 1-26 | 青梅の森事業計画の推進 | 事業計画にもとづき、展望広場整備、外来種対策等の取組を実施するとともに、運営協議会を開催した。また、平成 26 年度に生じた斜面崩壊の対策工事を実施した。 |
| 2-1 | 森林整備事業 | 間伐 77.50ha・枝打ち 11.84ha を実施した。 |
| 2-2 | 森林ボランティア育成事業 | 森林ボランティア育成講座を 6 回実施した。 |
| 2-3 | 親水施設整備事業 | 関係課において親水施設整備検討の方向性について課題整理等を行った。 |
| 2-4 | 親水事業の推進 | 予定されていた 10 の親水事業等をすべて開催した。 |

| 事業番号 | 事業名 | 平成 27 年度の取組状況 |
|------|-------------------------------|---|
| 2-5 | 飼い主のいない猫対策事業 | 協働による里親会や動物愛護啓発映画上映会を実施するとともに、補助金交付による飼い主のいない猫対策を図った。 |
| 2-6 | 環境基本計画の策定・推進 | 計画にもとづく各種施策を推進するとともに、環境連絡会を開催した。 また、生物多様性保全協議会を開催し、生物多様性の保全について協議した。 |
| 2-7 | し尿処理施設の長寿命化事業 | 循環型社会形成推進地域計画を変更するとともに、給排水管、電気切替工事を実施した。 |
| 2-8 | 生ごみたい肥化推進事業 | 生ごみたい肥化講習会および講習会後の勉強会を開催し、生ごみたい肥化の普及・啓発を行った。 |
| 2-9 | ごみの排出抑制と資源化推進事業 | イベントにおけるごみ減量推進運動や、広報等によるごみ減量啓発を行った。 |
| 2-10 | ごみ減量講座と施設見学会事業 | 計画に即して講演会や施設見学会等を実施した。 |
| 2-11 | 新エネルギー利用等促進事業 | 公共施設の屋根貸し事業を実施した。 また、木質バイオマス・小水力発電の調査研究を行った。 |
| 3-1 | 子ども・子育て支援事業〔子ども・子育て支援事業計画の推進〕 | 計画にもとづく事業の推進をはかるとともに、子ども・子育て会議(年6回)の開催、学童保育事業にかかる諮問の検討を進めた。 |
| 3-2 | 子育て支援事業 | 子育て支援センター等で集団での遊びや地域の親子の交流の場の提供をした。また、交通機関利用児童通学費補助事業を実施した。 |
| 3-3 | 子ども家庭支援事業 | 子ども家庭支援センターにおける子育て総合相談を行うとともに、訪問員による家庭訪問を実施した。 |
| 3-4 | ファミリー・サポート・センター事業 | 保育所などへの送迎や子どもの預かり等の育児支援活動、会員間の交流等を行った。 |
| 3-5 | 学童保育事業 | 対象学年の拡大および障害を有する児童の入所定数の緩和、藤橋小学校で学童保育所を整備した。また、放課後子ども総合プランにもとづく連携を開始した。 |
| 3-6 | 短期臨時学童保育事業 | 短期臨時学童保育所(第一小学校)の開設および事業の検証を行った。 |
| 3-7 | 保育所施設整備事業 | 青梅梨の木保育園(2年目)、千ヶ瀬第1保育園(2年目)、青梅みどり第二保育園(1年目)、かすみ台第三保育園(1年目)、成木保育園(1年目)、畑中保育園の施設整備を行った。 |

| 事業番号 | 事業名 | 平成 27 年度の取組状況 |
|------|-----------------------------|--|
| 3-8 | 保育所バスステーション事業 | 検討会議の開催やアンケート等を実施し、事業化についての検討を行った。 |
| 3-9 | 放課後子ども教室事業 | 今井小学校で新規開設し、計 10 校に拡大した。また、放課後子ども総合プランにもとづく連携を開始した。 |
| 3-10 | 家庭教育啓発事業 | 家庭教育講演会、家庭のスローガンの周知等、家庭教育啓発事業を実施した。 |
| 3-11 | 幼児教育事業 | ちびっこひろばや親子スキンシップ教室など、未就学児の幼児教育事業を実施した。 |
| 3-12 | 学力向上事業 | 放課後や土曜日の補習事業を通して、児童・生徒に対し、家庭など学校以外での学習習慣の定着を図った。 |
| 3-13 | 子どもいきいき学校づくり推進事業[学びと心の育成事業] | 学校教育の課題解決や教育活動の活性化を図る事業を実施した。 |
| 3-14 | 児童生徒の学校適応体制の充実 | 教育相談、家庭訪問を行うとともに、不登校の児童・生徒が在籍校に復帰できるよう、授業および体験学習等を行った。 |
| 3-15 | 特別支援教育事業 | 情緒特別支援学級の整備検討を行った。また、教育活動支援員を配置し、指導の充実を図るとともに、市民等を対象とした研修会を開催した。 |
| 3-16 | 学校教材・備品の整備 | 図書購入、理科備品により、学校の学習環境の整備を図った。 |
| 3-17 | 教育の情報化推進事業 | 情報セキュリティ対策として、教員研修、現地調査を実施した。 また、タブレット P C 活用検証を実施した。 |
| 3-18 | 第四小学校屋内運動場改築事業 | 舞台装置や植栽工事等を実施し、屋内運動場改築工事を完了した。 |
| 3-19 | 第三中学校屋内運動場 | 舞台装置や外構工事等を実施し、屋内運動場改築工事を完了した。 |
| 3-20 | 小・中学校校舎トイレ改修事業 | 第三小・第五小・成木小の実施設計を行った。 |
| 3-21 | 小・中学校図書室等空調整備事業 | 中学校 10 校の図書室について、基本・実施設計を実施した。 |
| 3-22 | 調理場統合の検討 | 基本構想にもとづき、新給食センターの候補地についての考察を行った。 |
| 3-23 | 体験活動の充実 | 農業・食育体験教室、親子文化体験講座など体験教室を開催した。 |

| 事業番号 | 事業名 | 平成 27 年度の取組状況 |
|------|-----------------------------------|--|
| 3-24 | 若者の自立等支援事業 | 自立等支援事業として、若年者・家族向け相談事業および家庭訪問の実施、市民および要支援者向け講演会を開催した。 |
| 3-25 | 青少年健全育成事業 | 親子ふれあい綱引き大会の実施や青少年健全育成団体登録を行うとともに、地域活動や環境浄化のための青少年対策事業を支援した。 |
| 4-1 | 第五次青梅市生涯学習推進計画の推進 | 第五次青梅市生涯学習推進計画の「ともに学んで生きるまち」の実現に向けて各種講座を実施した。 |
| 4-2 | 新市民ホール建設構想事業 [新市民ホール整備構想の検討] | 先進施設の視察や利活用の検討課題のまとめ等を行うなど、新市民ホール整備の検討を行った。 |
| 4-3 | 図書館資料整備事業 | 市民要望を尊重した蔵書の確保に努めた。 |
| 4-4 | 第三次青梅市子ども読書活動推進事業[青梅市子ども読書活動推進事業] | 第三次青梅市子ども読書活動推進計画にもとづき、読書活動支援や読書情報提供、読書啓発・広報および人材育成などの事業を実施した。 |
| 4-5 | 図書館の管理運営方法等の検討 | 指定管理者を選定し、基本協定を締結した。 |
| 4-6 | 青梅市スポーツ推進計画の策定・推進 | 「地域スポーツ文化交流クラブままにこっと」の設立や新たなスポーツ教室を実施した。 |
| 4-7 | 体育施設における指定管理者制度の導入 | 平成 28 年度からの総合体育館および一般体育施設の指定管理委託の開始に向け準備を進めた。 |
| 4-8 | 姉妹都市提携 50 周年記念事業 | 50 周年記念市民訪問団の派遣および受入を行うとともに、50 周年記念誌の発行、記念写真展を開催した。 |
| 4-9 | 自治体間交流事業 | 青梅・南相馬スクラム支援事業「夏休み青梅子ども体験塾」の実施等、自治体間の交流の輪を広げた。 |
| 5-1 | 青梅市健康増進計画の推進 | 健康増進計画推進会議を 2 回開催し、青梅市健康増進計画の推進を図った。 |
| 5-2 | 生活習慣病の重症化予防 | 対象者へ再検査の通知および講演会の案内を発送した。また、講演会を実施し、生活習慣病の重症化予防対策を実施した。 |
| 5-3 | 青梅市食育推進計画の推進 | 青梅市食育推進計画にもとづき、親子向けの講座や市民食育講演会を開催し、食育の推進を図った。 |
| 5-4 | 病院総合情報システム整備事業 | 電子カルテを中心とした病院総合情報システムを更新した。 |

| 事業番号 | 事業名 | 平成 27 年度の取組状況 |
|------|------------------------------------|--|
| 5-5 | 地域医療機関連携推進事業 | 地域連携がんセミナー、がん緩和研修会など地域の医師等医療従事者向けの研修会や、地域の医療機関との連携強化のための地域医療連携懇話会を開催した。 |
| 5-6 | 医療器械整備推進事業 | 鏡視下手術ビデオシステムを整備した。 |
| 5-7 | 新病院建設事業 | 建替検討委員会の開催や先進事例の視察を実施するなど、基本計画の策定に向けて検討を行った。 |
| 6-1 | 民生委員・児童委員の適正配置 | 高齢者や障害のある方の見守り、相談、各種調査業務を行った。また、平成 28 年 12 月の一斉改選に向けて定数見直し作業を行った。 |
| 6-2 | 成年後見制度等の周知および利用促進 | 成年後見制度の普及・啓発や利用の促進のための事業を実施した。 |
| 6-3 | 介護予防事業(すこやか高齢者事業) | すこやか高齢者事業の対象者抽出のための調査を行うとともに、介護予防事業を実施した。 |
| 6-4 | 高齢者支援ネットワークの構築〔高齢者等見守り支援ネットワークの構築〕 | 民間事業者との見守り協定締結を拡充するとともに、関係機関等との連携を深め、見守りのネットワークの充実を図った。また、関係機関等との連絡会を開催した。 |
| 6-5 | 認知症サポーター養成研修事業 | 認知症サポーター養成研修を 32 回開催した。 |
| 6-6 | 障害者計画、障害福祉計画の策定・推進 | 障害福祉計画にもとづく平成 27 年度のサービス見込量を踏まえ、各種事業の推進を図った。 |
| 6-7 | 青梅市障がい者サポートセンター事業 | 障害者を支援するための相談支援事業や地域活動支援センター事業を実施した。 |
| 6-8 | 視聴覚サービス等支援事業 | 音声コードの市刊行物等への使用と職員向けの研修を実施した。また、手話講習会(中級)を実施した。 |
| 6-9 | 青梅市障害者就労支援センター事業 | 職業相談、就職準備相談などの就労面の支援や日常生活、社会生活などの生活面の支援を行った。 |
| 6-10 | ひとり親家庭自立支援事業 | 母子・父子自立支援員等による相談・支援を実施するとともに、高等職業訓練促進給付金を支給した。 |
| 7-1 | 青梅市農業振興計画の策定 | 策定懇談会を 4 回実施し、平成 28 年 3 月に「第三次青梅市農業振興計画」を策定した。 |
| 7-2 | 梅の里再生事業 | 青梅市梅の里再生計画にもとづく各種事業を実施した。また、ウメ輪紋ウイルス緊急防除にかかる強化対策を実施した。 |

| 事業番号 | 事業名 | 平成 27 年度の実施状況 |
|------|---------------------------------|---|
| 7-3 | 都市農業経営パワーアップ事業[都市農業活性化支援事業] | 認定農業者に対し、事業を実施し、生産力や収益の向上の支援を図った。 |
| 7-4 | 農業経営改善計画等の推進 | 市内認定農業者に対し、5件の補助金を交付した。 |
| 7-5 | 農商工産業連携推進事業[6次産業化支援事業] | 青梅農商工祭(3回)に対し、補助金を交付した。 |
| 7-6 | 林業振興事業 | 基金を活用した林業振興事業について検討した。 |
| 7-7 | おうめものづくり支援事業 | 中小企業に対し、各種支援を実施した。 |
| 7-8 | 商・工業振興プラン策定・推進[商・工業振興プランの策定・推進] | 各種アンケート調査の実施し、商・工業振興プラン骨子案を作成した。 |
| 7-9 | 商店街空き店舗活用事業 | 家賃助成補助等を実施した。 |
| 7-10 | 商店街活性化イベント事業の推進 | 17件の商店街イベント等に対し、補助金を交付した。 |
| 7-11 | 販路拡大支援事業 | 青梅市の特産品を購入することができるインターネットサイトの開設を支援した。 |
| 7-12 | 企業誘致の推進 | 企業誘致奨励金を交付した。また企業誘致の推進のため、企業誘致パンフレットの作成配布、事業用地に関する連絡会を開催した。 |
| 7-13 | 観光ボランティア養成事業 | しょうぶ公園ガイドボランティアの新規募集を実施した。また梅の公園ガイドボランティアの今後について検討した。 |
| 7-14 | 観光振興等支援事業 | Wi-Fi 機器の設置、キャッシュレス環境の整備や多言語化対応等にかかる支援を実施した。 |
| 7-15 | 「道の駅」整備の検討 | 先進事例の視察を行った。 |
| 7-16 | 梅の里再生事業 | (7-2の再掲) |
| 7-17 | フィルムコミッション(ロケーションサービス)事業 | 撮影場所の情報提供等を行うとともに、サポーターズメンバーの拡充を図った。またロケ弁コンテストを実施した。 |
| 7-18 | 就職面接会の開催 | 関係団体と共催で各種就職面接会・企業説明会を合計8回実施した。また就職支援セミナーを2回実施した。 |

| 事業番号 | 事業名 | 平成 27 年度の取組状況 |
|------|--------------------|--|
| 7-19 | 女性・若者就職アシスト事業 | 地元企業への雇用に関する総合的な調査や保育所状況などの調査を実施した。 |
| 7-20 | 労働相談の実施 | 労働相談を毎月 1 回実施した。 |
| 8-1 | 都市計画マスタープランの改定・推進 | 都市計画マスタープランの推進を図った。 |
| 8-2 | 地籍調査事業 | 基準点測量、権利調査、街区調査、一筆地調査および官民境界測量を実施した。 |
| 8-3 | 今井土地区画整理事業の推進 | 関係法令、関連計画に関する関係機関との協議を行った。 |
| 8-4 | 東青梅駅北口整備事業 | エレベーターの設置を含めた東青梅駅の駅舎建替えに向け、JR 等との協議を行った。 |
| 8-5 | 日本ケミコン跡地の利活用 | 東青梅 1 丁目地内諸事業用地等の利活用等に関する庁内検討を行った。 |
| 8-6 | 中心市街地活性化促進事業 | 「中心市街地活性化基本計画」を策定した。 青梅駅前地区市街地再開発準備組合に対し支援を行うとともに、まちづくり会社に出資した。 |
| 8-7 | 都市計画道路の整備 | 3.5.5 号線は道路線形の変更手続きを完了。3.5.24 号線は擁壁設置工事に着手した。また、3.5.26 号線は、先行して都道内の雨水管増径工事に着手した。 |
| 8-8 | 市道の改修・改良 | 幹 29 号線等の改修工事を予定通り実施した。 |
| 8-9 | 健康と歴史・文化の路整備事業 | 「健康と歴史・文化の路」整備事業計画にもとづき測量、設計委託および整備工事について、概ね計画どおりに実施した。 |
| 8-10 | 電線類の地中化 | 都市計画道路 3・5・5 号線について 27 年度施工分の修正設計を実施し電線共同溝の布設に着手した。 |
| 8-11 | 橋りょうの長寿命化 | 橋りょうの定期点検および補修設計、補修工事を実施した。 |
| 8-12 | 青梅市公共交通基本計画の推進 | 青梅市公共交通協議会を開催(2回)し、課題解消などに向けて協議するとともに、協議会の意見を反映して作成した「青梅市公共交通ガイド」を配布した。 |
| 8-13 | バス路線等補助事業 | 公共負担金によるバス路線の維持および新たな公的支援制度の検討を行った。 |
| 8-14 | バス路線等補助事業(成木地区新路線) | 計 4 回成木地区公共交通検討委員会が開催され、新たな公共交通システムについて協議した。 |

| 事業番号 | 事業名 | 平成 27 年度の取組状況 |
|------|---|--|
| 8-15 | 公共下水道汚水事業の計画策定・推進 | 事業計画区域の拡大(約 12ha)および事業完了予定年度の延伸に伴う事業計画変更の認可を完了した。 |
| 8-16 | 合併処理浄化槽整備事業の計画策定・推進 | 条例を制定し、整備区域を定め、公設浄化槽整備推進事業を開始するとともに、実施設計委託を行った。 |
| 8-17 | 第 3 期事業区域の下水道(汚水)整備 | 第 3 期事業区域内において整備延長 1,308mの管きょ布設を行った。 |
| 8-18 | 小曾木・成木事業区域の下水道(汚水)整備[小曾木事業区域の下水道(汚水)整備] | 工事延長 L=1,126mの整備を実施した。 |
| 8-19 | 御岳山事業区域の下水道(汚水)整備 | 御岳登山ケーブル中間点から御岳山駅(570m)までの下水道管きょ布設工事に向けた詳細設計を行った。 |
| 8-20 | 下水道長寿命化事業 | 長寿命化計画の調査、研究を行った。 |
| 8-21 | ポンプ場の改修・更新 | 北部ポンプ場の設備改修・耐震補強、中央監視設備改修・耐震補強、大柳ポンプ場の長寿命化計画策定等を実施した。 |
| 8-22 | 河川の維持改修 | 自治会要望等にもとづき河川維持工事を実施するとともに、大門川の設計委託を実施した。 |
| 8-23 | 多摩川沿い景観まちづくり計画事業[景観まちづくり計画事業] | 多摩川沿い景観形成地区指定、景観形成計画・景観形成基準の告示を行った。 平成 28 年 4 月 1 日からの届出開始を告示とあわせて周知した。 |
| 9-1 | ホームページを活用した情報発信の充実 | 子ども向けの「おうめ子どもポータル」および「青梅市公式動画チャンネル」を開設した。 |
| 9-2 | 協働推進事業 | 青梅市における市民活動団体等との協働事業の推進に関する指針にもとづき、市民提案協働事業や研修を実施した。 |
| 9-3 | 青梅ボランティア・市民活動センターの活動促進事業 | 広報おうめ等により青梅ボランティア・市民活動センターの周知を図るとともに、運営費の助成を実施した。 |
| 9-4 | 自治会加入促進事業 | 地域コミュニティ形成のため、啓発資料を作成するなど、自治会への加入促進を図った。 また、自治会経費の負担軽減を実施した。 |
| 9-5 | 平和事業 | 中学生をヒロシマに派遣するピースメッセンジャー事業を実施した。また、各種平和事業を実施した。 |

| 事業番号 | 事業名 | 平成 27 年度の取組状況 |
|------|-----------------------------|---|
| 9-6 | 男女平等参画推進事業 | 青梅市男女平等推進計画にもとづき、講座の開催や情報紙の作成等、施策を推進した。 また、企業の女性社員等を対象に活躍推進事業に取り組んだ。 |
| 10-1 | 行財政改革推進事業 | 青梅市行財政改革推進委員会を開催し、行財政改革推進プランの取組状況の検証を実施した。 |
| 10-2 | 業務システムの最適化 | 基幹系業務システムを再構築し、新システムによる運用を開始した。 |
| 10-3 | 公共建築物保全整備事業[公共施設等マネジメント事業] | 計画的保全整備として、大門第 5・6 住宅を保全整備した。 |
| 10-4 | 公共施設再編・再配置事業[公共施設等マネジメント事業] | 公共施設等総合管理計画および公共施設再編計画の策定を進めた。 |

※事業番号・事業名は、平成 27 年度～平成 29 年度実施計画に掲載されたものです。

※事業名欄の[]内は、平成 28 年度～平成 30 年度実施計画の事業名を記載しています。

5. 完了・廃止等事業計画一覧

完了・廃止等事業計画一覧

| 年度 | 区分 | 事業名 | 完了・廃止・統合理由 |
|----|----|--------------------|--|
| 27 | 統合 | 都市公園等の整備 | 公園施設長寿命化計画の推進と統合した。 |
| 27 | 完了 | 第四小学校屋内運動場改築事業 | 計画どおり事業を完了した。 |
| 27 | 完了 | 第三中学校屋内運動場災害復旧事業 | 計画どおり事業を完了した。 |
| 27 | 完了 | 図書館の管理運営方法等の検討 | 計画どおり指定管理者制度を導入した。 |
| 27 | 完了 | 体育施設における指定管理者制度の導入 | 計画どおり指定管理者制度を導入した。 |
| 27 | 完了 | 姉妹都市提携50周年記念事業 | 計画どおり事業を完了した。 |
| 27 | 完了 | 病院総合情報システム整備事業 | 計画どおり事業を完了した。 |
| 27 | 統合 | 観光振興等支援事業 | おうめ！観光戦略創造プロジェクトと統合した。 |
| 27 | 完了 | 下水道長寿命化事業 | 平均的な耐用年数よりも延命化が図られていることから、現時点において長寿命化計画の策定が不要となったため。 |
| 27 | 統合 | 公共建築物保全整備事業 | 公共施設等総合管理計画にもとづき、公共施設等全体の管理に計画的に取り組む必要があるため。 |
| 27 | 統合 | 公共施設再編・再配置事業 | 公共施設等総合管理計画にもとづき、公共施設等全体の管理に計画的に取り組む必要があるため。 |

第 6 次青梅市総合長期計画
実施計画
(平成 28 年度～平成 30 年度)

■発行者／青梅市

■発行日／平成 29(2017)年 3 月

■企画編集／青梅市企画部企画政策課

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1

TEL : 0428-22-1111(代表)